



HP Z2 Mini G3 Workstation

ユーザー ガイド

著作権情報

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

初版：2016 年 11 月

製品番号：902552-291

保証について

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

一部の機能は Windows の一部エディションまたはバージョンでは使用できません。システムで Windows の機能を最大限に活用するには、アップグレードされたハードウェアや別売のハードウェア、ドライバやソフトウェア、または BIOS の更新が必要になる場合があります。

<http://www.microsoft.com/> を参照してください。

商標表示

Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて HP Inc.が使用しています。Intel は米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation およびその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。NVIDIA は、NVIDIA Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Red Hat® は、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

このガイドについて

 **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

 **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

 **注記：** 重要な補足情報です。

このガイドでは、ワークステーションのセットアップおよび一般的なトラブルの解決方法について説明します。

ガイドのトピック

[1 ページの「HP リソースの参照場所」](#)

[5 ページの「ワークステーションの機能」](#)

[10 ページの「ワークステーションのセットアップ」](#)

[19 ページの「Windows 10 のセットアップ、バックアップ、復元、およびリカバリ」](#)

[30 ページの「Windows 7 のセットアップ、バックアップ、復元、およびリカバリ」](#)

[35 ページの「Linux のセットアップ」](#)

[39 ページの「ワークステーションの更新」](#)

[41 ページの「診断および簡単なトラブルシューティング」](#)

[46 ページの「\[HP PC Hardware Diagnostics\] \(UEFI\) の使用」](#)

[48 ページの「日常적인お手入れ」](#)

 **ヒント：** このガイドでお探しのものが見つからない場合

- 詳細な技術情報については、http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html の『メンテナンスおよびサービスガイド』を参照してください。
 - 取り外しや交換の手順を説明したビデオを見るには、<http://www.hp.com/go/sml/>（英語サイト）を参照してください。
 - お使いのワークステーションについて詳しくは、<http://www.hp.com/go/workstations/>（英語サイト）または <http://www.hp.com/jp/workstation/>（日本語サイト）を参照してください。
-

目次

1 HP リソースの参照場所	1
製品情報	1
サポート	2
製品ドキュメント	3
製品の診断	3
製品の更新プログラム	4
2 ワークステーションの機能	5
ワークステーションの各部	5
前面	5
左側面	6
背面	7
パフォーマンス モデル	7
エントリ モデル	8
製品仕様	9
物理特性	9
環境仕様	9
3 ワークステーションのセットアップ	10
ワークステーションのセットアップ	10
適切な通気の確保	10
セットアップ手順	11
ワークステーションのマウント	11
ワークステーションの接続	12
Bluetooth®デバイスの接続	13
Bluetooth デバイスの無効化	13
無線 LAN の無効化	14
モニターの追加	15
モニターを追加するための準備	15
エントリ モデル	15
パフォーマンス モデル	15
準備手順	16
モニター コネクタへのグラフィックスカード コネクタの適合	17
モニターの接続要件の確認	17

モニターの接続および設定	17
モニター ディスプレイのカスタマイズ (Windows)	18
別売のコンポーネントの取り付け	18
セキュリティ	18
製品のリサイクル	18

4 Windows 10 のセットアップ、バックアップ、復元、およびリカバリ 19

ソフトウェアのライセンス認証およびカスタマイズ	19
Windows オペレーティングシステムの初期セットアップ	19
モニター ディスプレイのカスタマイズ	20
ワークステーションの電源切断	20
その他の情報の参照先	20
問題が発生した場合	21
基本的なトラブルシューティングの実行	21
ランプの点滅やビープ音：POST 時のランプおよびビープ音の診断	21
[HP PC Hardware Diagnostics]の使用	21
[HP PC Hardware Diagnostics]へのアクセスおよび実行方法	22
USB デバイスへの[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード	22
お問い合わせになる前に	23
Windows 10 のバックアップ、復元、およびリカバリ	24
リカバリ メディアおよびバックアップの作成	24
[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアの作成（一部のモデルのみ）	25
Windows ツールの使用	26
復元およびリカバリ	26
[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) を使用した復元	27
開始する前に確認しておくべきこと	27
HP 復元用パーティションの使用（一部のモデルのみ）	28
[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用した復元	28
ワークステーションのブート順序の変更	29
HP 復元用パーティションの削除（一部のモデルのみ）	29

5 Windows 7 のセットアップ、バックアップ、復元、およびリカバリ 30

Windows 7 オペレーティングシステムのセットアップ	30
デバイスドライバのインストールまたはアップグレード	30
ファイルおよび設定の転送	30
Windows 7 のバックアップ、復元、およびリカバリ	31
情報のバックアップ	32
システムの復元	32
[System Recovery] (システム リカバリ)	33

復元用パーティション イメージからの[System Recovery]の実行	33
[HP Recovery]で作成したオペレーティング システム メディアの使用	34
6 Linux のセットアップ	35
Linux 対応システム	35
HP Linux ドライバー ディスク	36
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) のセットアップ	36
HP ドライバー ディスク	36
HP Red Hat Linux ドライバー メディアを使用したインストール	37
SUSE Linux Enterprise Desktop (SLED) のセットアップ	37
HP ドライバー ディスクを使用したSLED のインストール	37
Ubuntu のセットアップ	38
HP ドライバー ディスクの使用	38
HP が提供するグラフィックスドライバー	38
7 ワークステーションの更新	39
初回ブート後のワークステーションの更新	39
BIOS の更新	39
現在の BIOS バージョンの確認	39
BIOS のアップグレード	40
デバイス ドライバーのアップグレード	40
8 診断および簡単なトラブルシューティング	41
サポートへのお問い合わせ	41
ID ラベルの貼付位置	42
保証に関する情報	42
HP トラブルシューティングのリソースとツール	42
オンライン サポート	42
HP サポート センター	43
HP チャット サポート	43
技術情報、セキュリティ関連情報、および顧客通知	43
製品変更通知	43
役に立つヒント	44
起動時	44
操作中	44
カスタマー セルフ リペア プログラム	45
その他のトラブルシューティング オプション	45

9 [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用	46
[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の USB デバイスへのダウンロード	47
10 日常のお手入れ	48
一般的な清掃に関する安全上の注意事項	48
シャーシの清掃	48
キーボードの清掃	48
モニターの清掃	49
マウスの清掃	49
11 ユーザー サポート	50
サポートされている支援技術	50
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	50
索引	51

1 HP リソースの参照場所

ここでは、お使いの HP ワークステーションに適した以下のリソースに関する情報を提供します。

- [製品情報](#)
- [サポート](#)
- [製品ドキュメント](#)
- [製品の診断](#)
- [製品の更新プログラム](#)

製品情報

トピック	場所
技術仕様	お使いの製品の『QuickSpecs』を確認するには、 http://h71069.www7.hp.com/quickspecs/overview.html （英語サイト）にアクセスし、 [Search all QuickSpecs] （すべての QuickSpecs の検索）をクリックして検索フィールドにお使いのモデル名を入力し、 [Go] （次へ）をクリックします
『規定、安全および環境に関するご注意』	製品の規定に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。また、ワークステーションのシャーシに貼付されている規定ラベルにも規定情報が記載されています。最新のオンラインの説明書については、HP の Web サイト、 http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html を参照してください
アクセサリ（オプション製品）	サポートされているオプション製品およびコンポーネントの最新情報については、 http://www.hp.com/jp/workstation/ を参照してください
システム ボード	システム ボードの図は、シャーシ内部にあります。追加情報は、HP の Web サイト、 http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html からお使いのワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』を選択して参照できます
シリアル番号、認定/認証、およびオペレーティングシステムの各ラベル	シリアル番号、認定/認証、およびオペレーティングシステムの各ラベルは、ワークステーションのリアパネルに貼付されています

サポート

トピック	場所
製品サポート	日本での製品サポートについては、日本向け製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』または HP の Web サイト、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください 日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください ここでは、以下のようなサポート情報を提供しています • HP のサービス担当者とオンラインでチャットする • HP のサポート窓口で電子メールで問い合わせる • HP のサポート窓口の電話番号を調べる • HP のサービスセンターを探す
保証に関する情報	基本的な保証に関する情報を確認するには、日本向け製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』または HP の Web サイト、http://www.hp.com/support/warranty-lookuptool/ を参照してください 既存の HP Care Pack を確認するには、http://www.hp.com/go/lookuptool/ を参照してください 標準の製品保証を延長するには、http://h20565.www2.hp.com/hpsc/wc/public/home/ にアクセスして、[関連リンク]から該当する項目を選択してください。HP Care Pack サービスは、標準の製品保証を延長および拡張する、アップグレードされたサービスレベルを提供します HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いのワークステーションに収録されているドキュメントまたは製品に付属の CD や DVD に収録されているドキュメントに示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』が付属しています。また、日本以外でも、印刷物の保証規定が製品に付属している国や地域もあります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、コピーを入手できます。http://www.hp.com/go/orderdocuments/ でオンラインで申し込むか、または、アジア太平洋地域で購入された製品につきましては、下記の HP Inc.宛てに郵送でお申し込みください POD, P.O. Box 161 Kitchener Road Post Office, Singapore 912006 郵送で請求する場合は、お使いの製品名、お客様のお名前、お電話番号、およびご住所をお知らせください

製品ドキュメント

トピック	場所
HP のユーザー マニュアル、ホワイトペーパー、および他社製の説明書	ユーザー マニュアルはハードディスクドライブ上にあります。Windows® 10 では、[スタート]→[すべてのアプリ]→[HP]→[HP ドキュメント]の順に選択します。Windows 7 では、[スタート]→[HP ヘルプとサポート]→[HP ドキュメント]の順に選択します。最新のオンラインの説明書については、 http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html を参照してください。説明書には、このユーザー ガイドおよび『メンテナンスおよびサービスガイド』が含まれています
取り外しや交換の手順を説明したビデオ	ワークステーションのコンポーネントの取り外しおよび交換については、 http://www.hp.com/go/sml/ （英語サイト）を参照してください
製品に関する通知	Subscriber's Choice は、HP プログラムの 1 つで、ドライバーおよびソフトウェアに関する警告、障害予測通知（PCN）、HP ニュース レター、顧客アドバイスなどを受けるための登録ができます。 http://www.hp.com/go/subscriberschoice/ （英語サイト）で登録してください
技術仕様	HP の Web サイトには、HP ワークステーションの『QuickSpecs』が掲載されています。『QuickSpecs』には、オペレーティング システム、電源、メモリ、CPU、およびその他多くのシステム コンポーネントに関する情報が含まれます。『QuickSpecs』にアクセスするには、 http://www.hp.com/go/quickspecs/ を参照してください
技術情報、セキュリティ関連情報、および通知	技術情報、セキュリティ関連情報、および通知を検索するには、以下の操作を行います 1. http://www.hp.com/go/workstationsupport/ にアクセスします 2. 目的の製品を選択します 3. [ナレッジベース]で、スクロールバーを使用して[サポート技術情報 (アドバイザリー)]を選択します

製品の診断

トピック	場所
Windows 診断ツール	UEFI 診断ユーティリティは、一部の Windows ワークステーションにプリインストールされています 詳しくは、 http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html で、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』を参照してください
ビープ音およびランプのコードの定義	http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html で、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』を参照してください
POST 時のエラー コード	http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html で、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』を参照してください

製品の更新プログラム

トピック	場所
ドライバーおよび BIOS の更新	ワークステーションに最新ドライバーがインストールされていることを、http://www.hp.com/go/workstationsupport/ を参照して確認してください お使いのワークステーションで現在のワークステーションの BIOS を確認するには、システムの起動中に以下の操作を行います 1. ワークステーションの電源を入れ、起動時に Esc キーを押します 2. F10 キーを押して[コンピューター セットアップ (F10) ユーティリティ]を起動します 3. [Main] (メイン) にアクセスして、[System Information] (システム情報) を選択します。システム BIOS バージョンおよび日付を書き留め、HP の Web サイトに表示される BIOS バージョンと比較します Windows 7 の場合は、以下の手順で操作して BIOS のバージョン番号を確認することもできます 1. [スタート] にアクセスし、[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[システム情報] の順に選択します 2. 右側のパネルで、BIOS バージョン/日付の行を参照します 3. BIOS バージョンおよび日付を書き留め、HP の Web サイトに表示されるバージョンと比較します
オペレーティングシステム	詳しくは、以下の場所を参照してください • Windows オペレーティングシステムについて詳しくは、http://www.support.microsoft.com/ を参照してください • Linux® オペレーティングシステムについて詳しくは、https://jp.linux.com/ を参照してください

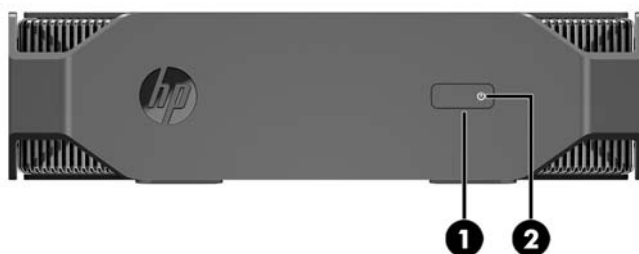
2 ワークステーションの機能

HP ワークステーションでサポートされているオプション製品およびコンポーネントの最新情報については、<http://partsurfer.hp.com/>（英語サイト）を参照してください。

- [ワークステーションの各部](#)
- [製品仕様](#)

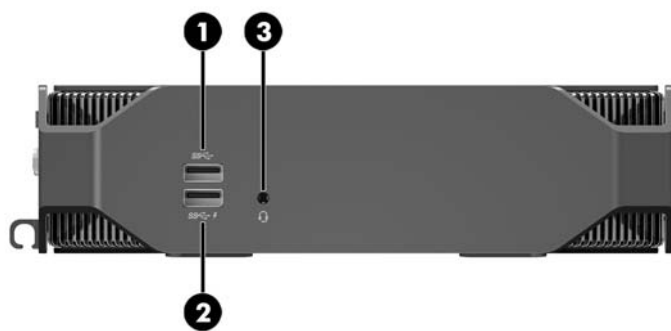
ワークステーションの各部

前面



番号	アイコン	名称
1		電源ボタン
2		電源ランプ

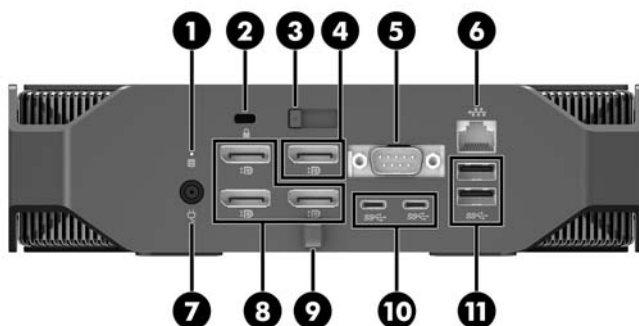
左側面



番号	アイコン	名称
1		USB 3.0 ポート
2		USB 3.0 ポート（電源オフ USB チャージ機能対応）
3		オーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボ コネクタ

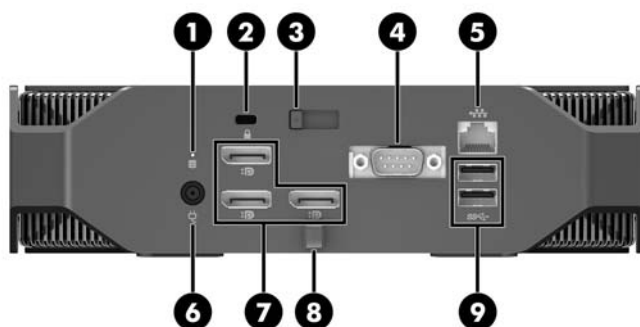
背面

パフォーマンスモデル



番号	アイコン	名称	番号	アイコン	名称
		ハードディスクドライブの状態ランプ			
1		点灯：ワークステーションの電源がオンになっています 白色で点滅：ハードディスクドライブにアクセスしています	7		電源コード コネクタ
2		セキュリティ ロック ケーブル用 スロット	8		DisplayPort 1.2 (×3) NVIDIA GPU の出力
3		アクセス パネルのリリース ラッチ	9		電源コード固定用クリップ
4		DisplayPort 1.2 内蔵グラフィックスを有効にできます NVIDIA®が初期設定の GPU です。 Intel® GPU は BIOS (F10) メニューで選択できます	10		USB Type-C ポート (×2)
5		シリアル コネクタ (オプション)	11		USB 3.0 ポート (×2)
6		RJ-45 (ネットワーク) コネクタ			

エントリ モデル



番号	アイコン	名称	番号	アイコン	名称
1		ハードディスクドライブの状態ランプ 点灯：ワークステーションの電源がオンになっています 白色で点滅：ハードディスクドライブにアクセスしています	6		電源コードコネクタ
2		セキュリティロックケーブル用スロット	7		DisplayPort (×3)
3		アクセスパネルのリリースラッチ	8		電源コード固定用クリップ
4		シリアルコネクタ (オプション)	9		USB 3.0 ポート (×2)
5		RJ-45 (ネットワーク) コネクタ			

製品仕様

物理特性

質量	ユニットのみ（パフォーマンス）	2.1 kg
	ユニットのみ（エントリ）	1.9 kg
寸法（ユニットのみ）	高さ	58 mm
	幅	216 mm
	奥行き	216 mm

環境仕様

動作保証温度	動作時	5°C ~ 35°C
	非動作時	-40°C ~ 60°C
注記：35°C という周囲温度の上限は、高度が 1524 m までの場合に当てはまります。1524 m を超えると、305 m ごとに 1.0°C 下がります。例えば、3048 m での周囲温度の上限は 30°C です		
湿度	動作時	8 ~ 85% 相対湿度（結露なし）
	非動作時	8 ~ 90% 相対湿度（結露なし）
動作保証高度	動作時	0 ~ 3048 m
	非動作時	0 ~ 9144 m
衝撃	動作時	1/2 正弦波：40 g、2 ~ 3 ms（~ 62 cm/s）
	非動作時	1/2 正弦波：160 cm/s、2 ~ 3 ms（~ 105 g） 20 g、平方：422 cm/s
注記：値は 1 回の衝撃に対するものであり、連続した衝撃に対しては当てはまりません		
振動	ランダム動作時：	0.5 g (rms)、5 ~ 300 Hz、最大 0.0025 g ² /Hz
	非ランダム動作時：	2.0 g (rms)、5 ~ 500 Hz、最大 0.0150 g ² /Hz
注記：値は連続振動には当てはまりません		

3 ワークステーションのセットアップ

- [ワークステーションのセットアップ](#)
- [モニターの追加](#)
- [別売のコンポーネントの取り付け](#)
- [セキュリティ](#)
- [製品のリサイクル](#)

ワークステーションのセットアップ

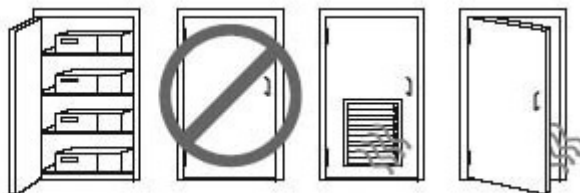
適切な通気の確保

適度な通気はワークステーションの動作にとって重要です。適切な通気を確保するには、以下の注意事項をお守りください。

- ワークステーションは安定した平らな場所で操作してください。
- ワークステーションの前後に 15 cm 以上の空間を確保してください（これは、すべてのワークステーションモデルに当てはまる最小の距離です）。



- ワークステーションの周囲温度が指定されている範囲内にあることを確認してください（[9 ページの環境仕様](#)を参照してください）。
- キャビネットに入れる場合は、キャビネットの通気をよくして、中の温度が指定されている制限を超えないようにしてください。
- 通気口や吸気口をふさいでワークステーション周辺の通風を遮らないようにしてください。



セットアップ手順

⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項をお守りください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- 電源コンセントから電源コードを抜いて（電源コードをワークステーションから抜かないようにします）、ワークステーションの電源を切断してください。
- 電源コードに3ピンのアタッチメントプラグがある場合は、コードを3ピンのアース（接地）された電源コンセントに接続してください。必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は重要な安全機能です。

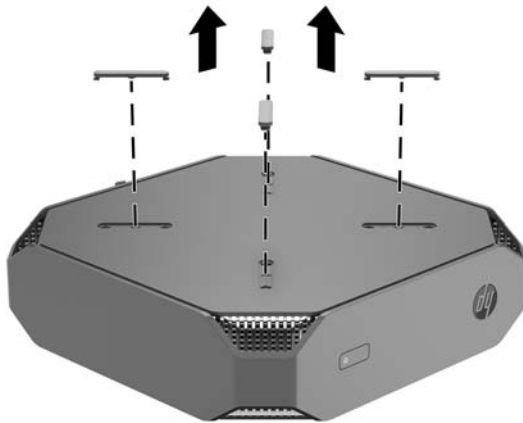
安全情報および規定に関する情報について詳しくは、お使いのワークステーションに付属の説明書に収録されている『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

ワークステーションのマウント

ワークステーションは、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

📖 注記： この装置は、UL または CSA 規格に適合した取り付け器具で支えられるように設計されています。

1. ワークステーションの底面のゴム製の脚を取り外すと、VESA 準拠の取り付け穴が見えます。



取り外した脚は、ワークステーションの上部カバーの内側に保管します。

2. ワークステーションをスイングアーム（別売）に取り付けるには、4本のM4×10mmネジを、スイングアームプレートにある穴に通してからワークステーションのネジ穴に差し込みます。

⚠ 注意： このワークステーションは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートしています。このワークステーションに他社製の固定器具を取り付けるには、4本のM4×10mmネジが必要です。これらのネジは、他社製の固定器具キットに付属しています。これより長いネジは、ワークステーションを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具がVESA基準に準拠していることおよびワークステーションの質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、ワークステーションに付属の電源コードおよびその他のケーブルを使用してください。

ワークステーションを他の固定器具に取り付けるには、固定器具に付属の説明書に沿って操作して、ワークステーションを安全に取り付けてください。

 **注記：**ワークステーションを水平に取り付ける場合は、すべてのコードおよびケーブルがコネクタからまっすぐ垂れ下がるようにワークステーションを配置してください。

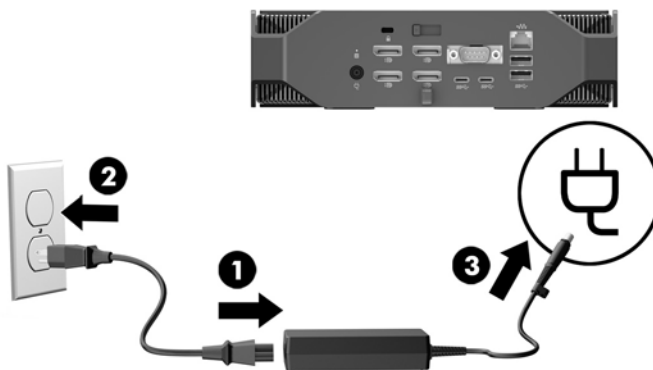
ワークステーションの接続

 **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- 電源コンセントから電源コードを抜いて（電源コードをワークステーションから抜かないようにします）、ワークステーションの電源を切断してください。
- 電源コードは、3 ピンのアース（接地）された電源コンセントに接続してください。2 ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。

ワークステーションをセットアップするには、以下の操作を行います。

1. マウスとキーボードをワークステーションに接続します。
2. モニターをワークステーションに接続します。
3. デバイスに付属の説明書に沿って、他の周辺のコンポーネント（プリンターなど）を接続します。
4. ネットワーク ケーブルをワークステーションに接続してから、ネットワーク ルーターまたは LAN デバイスに接続します。
5. ワークステーションの電源コードおよびモニターの電源コードを電源コンセントに接続します。



Bluetooth®デバイスの接続

このワークステーションは Bluetooth に対応しています。Bluetooth 無線デバイスに接続するには、以下の操作を行います。

1. Bluetooth デバイスから無線信号を送信して、ワークステーションがそのデバイスを検出できるようにします（手順についてはデバイスの説明書を参照してください）。
2. Windows の[コントロールパネル]で、[ハードウェアとサウンド]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。
 - Bluetooth デバイスがプリンターである場合は、[プリンターの追加]→[ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します]の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。
 - それ以外のデバイスの場合は、[デバイスの追加]→[Bluetooth デバイス]の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。

Bluetooth デバイスの無効化

Bluetooth 機能を無効にするには、システム BIOS またはオペレーティングシステムから無効にするか、無線モジュールをシステムから取り外します。

 **注記：** Bluetooth 機能をシステム BIOS から無効にするか無線モジュールをシステムから取り外した場合は、無線 LAN 機能も無効になります。

システム BIOS を使用して Bluetooth 機能を無効にするには、以下の操作を行います。

1. システムの起動時に **F10** キーを押して、BIOS セットアップを表示します。
2. 画面上部の使用可能なメニュー項目から、[Advanced]（詳細設定）メニューを探して選択します。
3. [System Options]（システム オプション）を選択します。
4. [M.2 WLAN/BT]を選択します。
5. 矢印キーを使用して[Enabled]（有効）を Disabled（無効）に変更し、[F10]キーを押して変更を確定します。
6. ヘッダー メニューで[File]（ファイル）を選択し、[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）を選択します。

Windows 10 で Bluetooth 機能を無効にするには、以下の操作を行います。

1. [コントロールパネル]で、[表示方法]を[カテゴリ]から[大きいアイコン]または[小さいアイコン]に変更します。
2. [デバイス マネージャー]を選択します。
3. [Bluetooth]を展開します。
4. [Intel® Wireless Bluetooth® 4.0 + HS Adapter]（Intel® Wireless Bluetooth® 4.0 + HS アダプター）を選択してメニューを表示します。
5. [ドライバー]メニューにアクセスし、[無効]を選択します。
6. [はい]を選択します。
7. 再度有効にするには、[有効]を選択します。

Windows 7 で Bluetooth 機能を無効にするには、以下の操作を行います。

1. [コントロールパネル]で、[表示方法]を[カテゴリ]から[大きいアイコン]または[小さいアイコン]に変更します。
2. [デバイスマネージャー]を選択します。
3. [Bluetooth 無線]を展開します。
4. [Intel® Wireless Bluetooth® 4.0 Adapter]（Intel® Wireless Bluetooth® 4.0 アダプター）を選択します。
5. [無効]を選択します。
6. [はい]を選択します。
7. 再度有効にするには、[有効]を選択します。

無線モジュールを取り外すには、以下のどちらかを参照して、コンポーネントの取り外しや交換の手順を確認してください。

- http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html にあるワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』
- <http://www.hp.com/go/sml/>（英語サイト）にあるワークステーションの動画

無線 LAN の無効化

 **注記：**ワークステーションは初期設定で無線 LAN が有効になっています。

 **注記：**無線 LAN 機能を無効にするためにシステム BIOS から無効にするか無線モジュールをシステムから取り外した場合は、Bluetooth 機能も無効になります。

無線 LAN 機能を無効にするには、システム BIOS またはオペレーティングシステムから無効にするか、無線モジュールをシステムから取り外します。

システム BIOS を使用して無線 LAN 機能を無効にするには、以下の操作を行います。

1. システムの起動時に **F10** キーを押して、BIOS セットアップを表示します。
2. 画面上部の使用可能なメニュー項目から、[Advanced]（詳細設定）メニューを探して選択します。
3. [System Options]（システム オプション）を選択します。
4. [M.2 WLAN/BT]を選択します。
5. [Disabled]（無効化）を選択し、**F10** キーを押して変更を確定します。
6. ヘッダー メニューで[File]（ファイル）を選択し、[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）を選択します。

Windows 10 で無線 LAN 機能を無効にするには、以下の操作を行います。

1. [コントロールパネル]で、[表示方法]を[カテゴリ]から[大きいアイコン]または[小さいアイコン]に変更します。
2. [デバイスマネージャー]を選択します。
3. [ネットワーク アダプター]を展開します。
4. [Intel® Dual Band Wireless-AC 8265]を選択します。
5. [ドライバー]メニューにアクセスします。
6. [無効]を選択します。

7. [はい]を選択します。
8. 再度有効にするには、[有効]を選択します。

Windows 7 で無線 LAN 機能を無効にするには、以下の操作を行います。

1. [コントロールパネル]で、[表示方法]を[カテゴリ]から[大きいアイコン]または[小さいアイコン]に変更します。
2. [デバイスマネージャー]を選択します。
3. [ネットワーク アダプター]を展開します。
4. [Intel® Dual Band Wireless-AC 8265]を選択します。
5. [無効]を選択します。
6. [はい]を選択します。
7. 再度有効にするには、[有効]を選択します。

無線モジュールを取り外すには、以下のどちらかを参照して、コンポーネントの取り外しや交換の手順を確認してください。

- http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html にあるワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』
- <http://www.hp.com/go/sml/>（英語サイト）にあるワークステーションの動画

モニターの追加

モニターを追加するための準備

エントリ モデル

HP Z2 Mini G3 エントリ システムは、Intel 内蔵 GPU で実行される複数画面同時出力を最大 3 画面までサポートしています。各ディスプレイの最大解像度は 4096×2160（60 Hz）です。

また、DisplayPort 1.2 出力を 2 つ一緒に使用することで、5120×2880（60 Hz）の解像度でパネルに出力できます。これを実現するには、パネルがこの出力方法をサポートしている必要があります。

パフォーマンス モデル

HP Z2 Mini G3 パフォーマンス モデルは 2 種類のモードで実行できます。NVIDIA GPU のみのモードと NVIDIA GPU + Intel GPU のモードです。NVIDIA GPU のみのモードでは最適なパフォーマンスが得られ、NVIDIA GPU + Intel GPU モードでは、出力できる画面の数が 2 画面増えます。

NVIDIA GPU のみのモード：

- これが初期設定です。
- すべての DisplayPort 1.2 に、NVIDIA Quadro GPU から直接出力されるため、最適なパフォーマンスが得られます。
- DisplayPort 出力を組み合わせれば、各ディスプレイの最大解像度が 4096×2160（60 Hz）の 4 画面出力、または最大解像度が 5120×2880（60 Hz）の 2 画面出力も実現できます。ディスプレイがこの出力方法をサポートしている必要があります。

NVIDIA GPU + Intel GPU モード：

- NVIDIA GPU では最大で 4 画面出力をサポートできます。出力できる画面の数をさらに 2 画面増やすには、NVIDIA Quadro GPU および Intel 内蔵 GPU の両方を同時に使用するようにシステムを設定します。
- このモードはシステム BIOS で設定します。
 1. システムの電源ボタンを押し、システム BIOS の GUI が表示されるまで **F10** キーを繰り返し押します。
 2. **[Advanced]**（詳細設定）タブに移動します。
 3. **[Built-In Device Options]**（内蔵デバイスオプション）を選択します。
 4. **[Enable Intel graphics on DisplayPort port #4]**（DisplayPort 4 番で Intel グラフィックスを有効にする）を選択します。
 5. Intel GPU が DisplayPort 4 番に出力することを知らせるメッセージが表示されたら、**Enter** キーを押して承認します。
 6. **F10** キーを押し、変更を保存して終了します。
- このモードでは最大で 6 画面出力を実現できます。
 - システムには DisplayPort 1.2 が 4 つしか搭載されていないため、デイジーチェーン構成で 2 つの DisplayPort 1.2 がそれぞれ 2 画面に出力するようにします。これには DisplayPort 1.2 マルチストリームトランスポート（MST）を使用するため、MST をサポートしているディスプレイまたは DisplayPort ハブが必要になります。
 - 6 画面構成を実現するには、デイジーチェーンの一方に、Intel GPU から DisplayPort 4 番を経由して出力する必要があります。特定の DisplayPort を確認するには、[7 ページのパフォーマンスモデル](#)を参照してください。もう一方のデイジーチェーンには、NVIDIA Quadro GPU から他の DisplayPort 1.2 経由で出力できます。
 - システム上の各 DisplayPort 1.2 出力は 4096×2160（60 Hz）の解像度でディスプレイに出力できます。1 つの DisplayPort 1.2 に 2 つのディスプレイをデイジーチェーン構成で接続した場合、各ディスプレイの帯域幅が制限されるため、最大解像度は 2560×1600（60 Hz）になります。
- アプリケーションがどの GPU で実行されるかによってパフォーマンスは異なります。特定のアプリケーションで最適なパフォーマンスを得るには、アプリケーションが NVIDIA Quadro GPU で実行されるようにします。

準備手順

モニターを追加するための手順は、追加するモニターの種類や数によって異なります。

モニターを追加するための計画は、以下の手順に沿って行います。

1. モニターの要件を確認します。
 - a. 必要なモニターの数を決定します。
 - b. 必要になるグラフィックスパフォーマンスの種類を決定します。最適なパフォーマンスを得るには、NVIDIA Quadro GPU からディスプレイに出力してください。
 - c. 各モニターに使用するグラフィックスコネクタの種類を記録します。HP は DisplayPort（DP）および DVI インターフェイスを備えたグラフィックスカードを提供していますが、アダプターや他社製のカードを使用することで、DVI-I、HDMI、VGA などの他のグラフィックス形式にも対応できます。

☼ **ヒント** : 古い一部のレガシーハードウェア用のアダプターには、他の製品よりコストが高いものがあります。アダプターを入手する場合のコストと、アダプターが不要な新しいモニターを入手する場合のコストを比較することをおすすめします。

2. ドライバーをインストールして、解像度を設定します。

- そのカード用の適切なドライバーがインストールされていることを確認します。HP が認定したドライバーについては、<http://www.hp.com/jp/> を参照してください。
- Windows のディスプレイ設定で各モニターの解像度、向き、および配置を設定します。詳しくは、Windows のヘルプまたは Web サイト、<http://www.microsoft.com/> を参照してください。
- Linux でのモニターのセットアップでは、多くの場合、グラフィックスカードの設定ツール (NVIDIA の [nvidia-settings] など) を使用できます。最近の一部の Linux リリースでは、ウィンドウマネージャー システム (Gnome 3 など) の設定も変更する必要があります。

☼ **ヒント** : 潜在的な問題のトラブルシューティングを簡単にするため、1 度に 1 つのモニターを有効にします。つまり、最初のモニターを有効にし、そのモニターが適切に機能することを確認してから、次のモニターを有効にします。

モニター コネクタへのグラフィックスカード コネクタの適合

以下の表で、モニター構成シナリオを説明します。

グラフィックスカードインターフェイスコネクタ	モニター コネクタ				
	VGA	DVI	デュアルリンク DVI	DisplayPort (DP)	HDMI
DisplayPort 	DisplayPort - VGA アダプター (別売)	DP - DVI アダプター	DP - DL DVI アダプター	DP ケーブル	DP - HDMI アダプター

🔍 **注記** : パフォーマンスが最も高いのは DisplayPort 接続で、最も低いものは VGA 接続です。

モニターの接続要件の確認

DisplayPort 出力のグラフィックスカード : システムには 4 つの DisplayPort 1.2 出力があります。各コネクタにモニターを接続できます。必要に応じて、適切なアダプターを使用します。

モニターの接続および設定

- モニター ケーブル アダプターをワークステーションに接続し (必要な場合)、適切なモニター ケーブルをアダプターに接続するか、グラフィックスカードに直接接続します。
- モニター ケーブルのもう一方の端をモニターに接続します。

3. モニターの電源コードの一方の端をモニターに接続し、もう一方の端を電源コンセントに差し込みます。
4. モニターを設定します。詳しくは、Microsoft®社のヘルプまたは Web サイト、<http://www.microsoft.com/> を参照してください。

Linux でのモニターのセットアップでは、多くの場合、グラフィックスカードの設定ツール（NVIDIA の[nvidia-settings]または AMD の[Catalyst の Control Center]など）を使用できます。最近の一部の Linux リリースでは、ウィンドウ マネージャー システム（Gnome 3 など）の設定も変更する必要があります。

モニター ディスプレイのカスタマイズ（Windows）

モニターのモデル、リフレッシュレート、画面解像度、色設定、フォント サイズ、省電力機能の設定などは、手動で選択または変更できます。

- Windows 10 でディスプレイ設定を変更するには、タスクバーの検索ボックスで、「コントロール」と入力し、[コントロール パネル]を選択します。[デスクトップのカスタマイズ]→[ディスプレイ]の順に選択します。
- Windows 7 でディスプレイ設定を変更するには、デスクトップで空白の領域を右クリックし、[画面の解像度]をクリックします。

モニター表示のカスタマイズについて詳しくは、以下のリソースを参照してください。

- グラフィックス コントローラー ユーティリティによって提供されるヘルプ
- モニターに付属の説明書

別売のコンポーネントの取り付け

ワークステーションには、メモリ、ハードディスク ドライブ、無線モジュールなどのコンポーネントを追加できます。

- コンポーネントの取り付け手順を説明したビデオを見るには、<http://www.hp.com/go/sml/>（英語サイト）を参照してください。
- 取り付けガイドラインおよび技術情報については、http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html の『メンテナンスおよびサービス ガイド』を参照してください。

セキュリティ

セキュリティ ロック ケーブル用スロットにロックを取り付けて、ワークステーションを固定できます。ワークステーションには複数のセキュリティ機能があり、盗難のリスクを軽減したり、シャージへの侵入を警告したりできます。お使いのシステムで利用可能な追加のハードウェアおよびソフトウェアのセキュリティ機能について詳しくは、『メンテナンスおよびサービス ガイド』を参照してください。

製品のリサイクル

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インク カートリッジのリサイクルを推奨しています。

日本でのリサイクル プログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/hardwarerecycle/> を参照してください。日本以外の国や地域の HP でのリサイクル プログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/recycle/>（英語サイト）を参照してください。

4 Windows 10 のセットアップ、バックアップ、復元、およびリカバリ

この章では、以下のトピックで Windows 10 オペレーティングシステムのセットアップおよび更新について説明します。

- [ソフトウェアのライセンス認証およびカスタマイズ](#)
- [ワークステーションの電源切断](#)
- [その他の情報の参照先](#)
- [問題が発生した場合](#)
- [Windows 10 のバックアップ、復元、およびリカバリ](#)

ソフトウェアのライセンス認証およびカスタマイズ

オペレーティングシステムのライセンス認証が終了した後に、ヘルプを参照して追加情報を確認してください。

 **注記：** 通気を確保するため、コンピューターの後ろとモニターの上 10 cm（4 インチ）以内に障害物がないようにしてください。

Windows オペレーティングシステムの初期セットアップ

ワークステーションの電源を最初に入れたときに、オペレーティングシステムのセットアップおよびライセンス認証が自動的に開始されます。この処理には、5～10 分程度かかります。画面に表示される説明に沿って操作して、Windows の初期セットアップを完了してください。

重要なソフトウェア更新プログラムに関する情報を受け取ったり、質問に対するサポートをより迅速に受けたり、特別なオファーに登録したりできるように、オペレーティングシステムのセットアップ時にお使いのワークステーションを HP に登録することをおすすめします。

 **注意：** オペレーティングシステムのセットアッププロセスが開始されたら、完了するまでは絶対にワークステーションの電源を切らないでください。セットアッププロセス中に電源を切ると、ワークステーションを実行するソフトウェアが壊れたり、オペレーティングシステムを正しくインストールできなくなったりすることがあります。

モニターディスプレイのカスタマイズ

モニターのリフレッシュレート、画面の解像度、色の設定、フォントサイズ、および省電力機能の設定をユーザーの好みに合わせて選択または変更できます。

詳しくは、グラフィックスコントローラーユーティリティのヘルプまたはモニターに付属の説明書を参照してください。

- ▲ Windows のデスクトップを右クリックし、[個人設定]または[画面の解像度]をクリックして、画面の設定を変更します。

または

[スタート]アイコン→[設定]→[個人用設定]の順にクリックします。

ワークステーションの電源切断

ワークステーションの電源を適切に切断するには、オペレーティングシステムソフトウェアをシャットダウンします。

- ⚠ **注意:** HP では、電源ボタンを押したままにしてシステムの電源を切ることをおすすめしません。これを行うと、ユーザーのデータが損失したり、ストレージデバイスが損傷したりするおそれがあります。システムが不安定になり、電源ボタンを押して電源を切る方法しかない場合は、ワークステーションの再起動後にシステムが完全に復帰できるだけの十分な時間を確保してください。この処理には数分かかることがあります（特に容量の大きいデバイスやソリッドステートデバイスの場合）。詳しくは、<http://www8.hp.com/h20195/v2/GetPDF.aspx/4AA6-1470ENW.pdf>（英語サイト）の『Risks of unexpected power loss on solid state drives』（ソリッドステートドライブでの予期しない電源喪失のリスク）を参照してください。HP ワークステーションのホワイトペーパーは、[HP Performance Advisor]からも参照できます。

- ▲ [スタート]アイコン→[電源]アイコン→[シャットダウン]の順にクリックします。

または

タスクバーで、「設定」と入力して[設定]を選択し、「切る」と入力して[PC の電源を切る]をクリックします。

その他の情報の参照先

- 📖 **注記:** ワークステーションのハードディスクドライブには以下の説明書の一部またはすべてが収録されています。

- 『お使いになる前に』: ワークステーションの出荷時に含まれているソフトウェアをセットアップする手順や、システムのバックアップおよび復元方法について説明します。初期起動時に発生する可能性があるトラブルに対する基本的な解決方法についても説明しています。
- 『ハードウェアリファレンスガイド』: ハードウェアの概要およびこのワークステーションシリーズのハードウェアのアップグレードについて説明します。RTC バッテリー、メモリ、および電源装置のアップグレードについても説明します。
- 『メンテナンスおよびサービスガイド』: 部品の取り外しおよび取り付け、トラブルシューティング、デスクトップマネジメント、セットアップユーティリティ、安全性、日常的なお手入れ、コネクタのピンの割り当て、POST エラーメッセージ、診断インジケータのランプ、およびエラーコードに関する情報を提供します。
- 『規定、安全、および環境に関するご注意』: 各国の規制に準拠することを示す、規定と安全に関する情報について説明します。

問題が発生した場合

問題に発展する可能性がある事象を診断したり解決したりするための方法はいくつかあります。HP では、HP 独自の診断ツールを複数提供していますが、もっとも根本的な原因からより複雑な原因に順番に対応していく問題解決手法をおすすめします。この手順には、以下が含まれます。

- 視覚的な検査
- ランプの点滅やビープ音
- HP PC Hardware Diagnostics（HP PC ハードウェア診断）
- HP サポート
- システムの復元
- システム リカバリ

基本的なトラブルシューティングの実行

トラブルシューティング情報は、<http://www.hp.com/jp/support/> から入手可能なお使いのワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』に記載されています。**[製品を選んでください]**の下で製品を選択するか、**製品の検索**で製品を検索してください。

ランプの点滅やビープ音：POST 時のランプおよびビープ音の診断

ワークステーションの左側面にある電源ランプが点滅していたり、ビープ音が鳴ったりする場合は、お使いのワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』を参照して状態を調べ、推奨される処置を行ってください。

[HP PC Hardware Diagnostics]の使用

[HP PC Hardware Diagnostic]ツールにより、ハードウェアの問題を診断するプロセスが簡素化され、問題が検出された場合のサポート プロセスが促進されます。ツールによって交換する必要のあるコンポーネントが特定されるため、時間が節約されます。

- **ハードウェアの障害のみを分離**：診断はオペレーティングシステムに依存していないため、オペレーティングシステムまたは他のソフトウェア コンポーネントによって引き起こされている可能性のある問題からハードウェア障害を効果的に分離できます。
- **障害 ID**：ハードウェアの交換が必要な障害が検出された場合、24 桁の障害 ID が生成されます。この ID を HP のサポート窓口の担当者に伝え、担当者はサポートをスケジュールしたり、交換用の部品を提供したりするときに活用します。

[HP PC Hardware Diagnostics]へのアクセスおよび実行方法

ユーザーのニーズやワークステーションの状態に応じて、3つの場所のどれかから診断を実行できます。

1. ワークステーションの電源を入れ、[BIOS Startup Menu]が表示されるまで **Esc** キーを繰り返し押します。
2. **F2** キーを押すか、**[System Diagnostics (F2)]**を選択します。

F2 キーを押すと、以下の場所から診断ツールを検索するようにシステムに信号が送られます。

- a. 接続されている USB ドライブ
- b. ハードディスク ドライブ
- c. USB およびハードディスク・ドライブのバージョンが検出されない場合にのみアクセス可能な BIOS（メモリやハードディスクドライブの場合）内の診断のコア セット

USB デバイスへの[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード

[HP PC Hardware Diagnostics]（UEFI）を USB デバイスにダウンロードするには、以下の2つの方法があります。

方法1：[HP PC Hardware Diagnostics]のホームページで、最新バージョンの UEFI を入手する

1. HP の Web サイト、<http://www8.hp.com/jp/ia/campaigns/hpsupportassistant/pc-diags.html> にアクセスします。
2. **[ダウンロード (UEFI v.x.x.x)]**（「x.x.x」はバージョン番号）リンクをクリックし、**[実行]**を選択します。

方法2：[ドライバー&ダウンロード]ページで、特定の製品向けの以前または最新のバージョンの UEFI をダウンロードする

1. HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/> にアクセスします。
2. ページの上部にある**[サポート]**にマウスカーソルを合わせ、**[ドライバー&ダウンロード]**をクリックします。
3. テキスト ボックスに製品名を入力し、**[検索]**をクリックします。

または

[検出を開始する]をクリックして、お使いの製品が自動検出されるようにします。

4. お使いのワークステーションのモデルを選択し、オペレーティング システムを選択して**[次へ]**をクリックします。
5. **[診断]**セクションで、**[HP PC Hardware Diagnostics UEFI]**（HP PC ハードウェア診断 UEFI）をクリックして詳細を確認します。

または

[ダウンロードを開始する]→**[保存]**の順に選択して USB デバイスに保存します。

お問い合わせになる前に

⚠ 警告！ ワークステーションが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていてもシステムボードには常に電気が流れています。感電や火傷の危険がありますので、ワークステーションのメンテナンス等を行うときは、事前に、電源コードが電源コンセントから抜き取ってあることおよび本体内部の温度が下がっていることを必ず確認してください。

ワークステーションにトラブルが発生した場合は、テクニカルサポートにお問い合わせになる前に、前のセクションでの説明または以下のまとめの中から適切な解決方法を実行して、問題の切り分けを試みてください。

- ワークステーションの左側面にある電源ランプが点滅しているかどうか、また、ワークステーションから連続したピープ音が聞こえるかどうかを確認します。点滅の仕方やピープ音のパターンによって、問題を特定できる場合があります。詳しくは、お使いのワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』を参照してください。
- 画面に何も表示されない場合は、モニターのケーブルを他のビデオ コネクタに接続します（使用できる場合）。または、正しく機能するモニターと交換します。
- ネットワーク上で作業している場合、以下の作業を行います。

- 異なるネットワーク ケーブルを使用して、ワークステーションをネットワークに接続してみます。
- 異なるケーブルを使用したワークステーションをネットワークに接続してみます。

問題が解決しない場合は、お使いのワークステーションのネットワーク ポートまたネットワークの壁面にあるコネクタに不具合があるかもしれません。

- 新しいハードウェアを最近追加した場合は、そのハードウェアを取り外します。
- 新しいソフトウェアを最近インストールした場合は、そのソフトウェアをアンインストールします。
- 包括的なオンライン テクニカル サポートは HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして利用することもできます。
- ワークステーションの電源を入れてもオペレーティング システムが起動しない場合は、「ブート前」診断ユーティリティである[HP PC Hardware Diagnostics]を実行することもできます。
- ワークステーションの電源を入れるとオペレーティング システムが起動し、インターネットにもアクセスできる場合は、<http://www.hp.com/go/ispe/> から HP インスタント サポート プロフェッショナル エディションにアクセスできます。

最新のオンライン サポート情報やソフトウェアおよびドライバーなどについては、<http://www.hp.com/go/bizsupport/> にアクセスしてください。

HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして包括的なオンライン テクニカル サポートを利用することもできます。

テクニカルサポートにお問い合わせになるときは、問題をより早く解決するために以下のことをすぐに行えるようにしておいてください。

- ワークステーションの近くから電話ができるようにします。
- お問い合わせになる前に、製品識別番号、ワークステーションおよびモニターのシリアル番号、診断を実行して作成された障害 ID（必要に応じて）を書き留めておきます。
- お電話をいただいてから、原因を特定して問題が解決できるまでに時間がかかることもありますので、あらかじめご了承くださいませよう、お願いいたします。

 **注記**：保証のアップグレード（HP Care Pack）情報などについては、日本向けの製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』をご覧ください。

Windows 10 のバックアップ、復元、およびリカバリ

ここでは、以下のプロセスについて説明します。このセクションの内容は、ほとんどのモデルで標準的な手順です。

- リカバリ メディアおよびバックアップの作成
- システムの復元およびリカバリ

詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

▲ タスクバーの検索ボックスで、「ヘルプ」と入力し、[ヘルプとサポート]を選択します。

 **注記**：リカバリ メディアを作成するには、高品質で空の USB フラッシュ ドライブ、または DVD 書き込み機能に対応した外付けオプティカルドライブが必要です。オプティカルドライブを使用する場合は、高品質で空の DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、または DVD+R DL ディスクのみを使用する必要があります。CD±RW、DVD±RW、2 層記録 DVD±RW、または BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどの書き換え可能なディスクは使用しないでください。これらのディスクは、[HP Recovery Manager]ソフトウェアに対応していません。互換性のある外付けオプティカルドライブが必要な場合は、HP から購入できます。

リカバリ メディアおよびバックアップの作成

リカバリ メディアおよびバックアップを作成するための以下の方法は、一部のモデルでのみ使用可能です。お使いのモデルのワークステーションによって使用可能な方法を選択してください。

- ワークステーションを正常にセットアップしたら、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用して[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを作成します。この手順を実行すると、ワークステーションに HP の復元用パーティションのバックアップが作成されます。バックアップは、ハードディスク ドライブが破損したり交換されたりした場合に、元のオペレーティングシステムの再インストールに使用できます。リカバリ メディアの作成について詳しくは、[25 ページの\[HP Recovery\]（HP リカバリ）メディアの作成（一部のモデルのみ）](#)を参照してください。リカバリ メディアを使用して設定できるリカバリ オプションについて詳しくは、[26 ページの Windows ツールの使用](#)を参照してください。
- Windows ツールを使用してシステムの復元ポイントを作成し、個人情報のバックアップを作成します。

詳しくは、[27 ページの\[HP Recovery Manager\]（HP リカバリ マネージャー）を使用した復元](#)を参照してください。

 **注記**：ストレージが 32 GB 以下の場合、Microsoft の[システムの復元]は、初期設定で無効に設定されています。

[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアの作成 (一部のモデルのみ)

可能であれば、復元用パーティションおよび Windows のパーティションがあることを確認します。[スタート]メニューで、[エクスプローラー]を選択します。

- お使いのワークステーションで Windows パーティションおよび復元用パーティションが表示されない場合、HP のサポート窓口からシステムのリカバリ メディアを入手できます。日本のサポート窓口については、日本向けの日本語モデル製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています。また、HP の Web サイトで HP のサポート窓口を検索することもできます。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/support/> を参照してください。日本以外の国や地域については、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

Windows ツールを使用してシステムの復元ポイントを作成し、個人情報のバックアップを作成できます。[26 ページの Windows ツールの使用](#)を参照してください。

- お使いのワークステーションで復元用パーティションおよび Windows パーティションが表示されない場合、ワークステーションを正しく設定した後、[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) を使用してリカバリ メディアを作成できます。[HP Recovery]メディアを使用すると、ハードディスクドライブが破損した場合にシステム リカバリを実行できます。システム リカバリを実行すると、元のオペレーティングシステムおよび工場出荷時にインストールされていたソフトウェア プログラムが再インストールされ、それらのプログラムの設定内容が再構築されます。[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアは、システムのカスタマイズや、ハードディスクドライブを交換する場合の工場出荷時のイメージの復元にも使用できます。
 - リカバリ メディアは 1 セットのみ作成できます。これらのリカバリ ツールは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。
 - [HP Recovery Manager]はワークステーションを検査して、メディアの容量がどれだけ必要かを判断します。
 - リカバリ メディアを作成するには、高品質で空の USB フラッシュドライブ、または DVD 書き込み機能に対応した外付けオプティカルドライブが必要です。オプティカルドライブを使用する場合は、高品質で空の DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、または DVD+R DL ディスクのみを使用する必要があります。CD±RW、DVD±RW、2 層記録 DVD±RW、または BD-RE (再書き込みが可能なブルーレイ) ディスクなどの書き換え可能なディスクは使用しないでください。これらのディスクは、[HP Recovery Manager]ソフトウェアに対応していません。

 **注記：** 互換性のある外付けオプティカルドライブが必要な場合は、HP から購入できます。

- USB フラッシュドライブまたは外付けオプティカルドライブは、ワークステーションの USB ポートに直接接続する必要があります。ドライブを、USB ハブなどの外付けデバイスの USB ポートに接続することはできません。リカバリ メディアを自分で作成できない場合は、お使いのワークステーションに適した USB リカバリ メディアを HP から入手できます。日本のサポート窓口については、日本向けの日本語モデル製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています。また、HP の Web サイトで HP のサポート窓口を検索することもできます。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/support/> を参照してください。日本以外の国や地域については、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。
- ワークステーションが外部電源に接続されていることを確認してから、リカバリ メディアの作成を開始してください。

- 作成処理には 1 時間以上かかる場合があります。作成処理を中断しないでください。
- 必要に応じて、すべてのリカバリ DVD の作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。[HP Recovery Manager]は、現在の DVD への書き込みを終了します。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、続行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

[HP Recovery]メディアを作成するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで、「recovery」または「リカバリ」と入力し、[HP Recovery Manager]を選択します。
2. 確認画面が表示されたら、[はい]をクリックしてプログラムを続行します。
3. [リカバリ メディアの作成]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

システムの復元が必要になった場合は、[27 ページの\[HP Recovery Manager\] \(HP リカバリ マネージャー\) を使用した復元](#)を参照してください。

Windows ツールの使用

Windows ツールを使用して、リカバリ メディア、システムの復元ポイント、および個人情報のバックアップを作成できます。

 **注記：**ストレージが 32 GB 以下の場合、Microsoft の[システムの復元]は、初期設定で無効に設定されています。

詳しい内容および手順については、[ヘルプとサポート]を参照してください。

- ▲ タスクバーの検索ボックスで、「ヘルプ」と入力し、[ヘルプとサポート]を選択します。

復元およびリカバリ

 **注記：**Microsoft Windows 10 のリカバリでは、直近の復元ポイントにシステムを復元します。[HP Recovery Manager]では、元の工場出荷時のイメージを復元できるだけです。詳しくは、<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-10/windows-10-recovery-options/> を参照してください。

システムを復元するためには、いくつかのオプションがあります。お客様の状況および知識に応じて最適な方法を選択してください。

 **重要：**すべての方法がすべてのモデルで使用できるとは限りません。

- Windows には、バックアップからの復元、ワークステーションのリフレッシュ、および元の状態へのワークステーションのリセットを行うためのオプションが用意されています。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。
 - ▲ タスクバーの検索ボックスで、「ヘルプ」と入力し、[ヘルプとサポート]を選択します。
- プリインストールされているアプリケーションまたはドライバーの問題を修正する必要がある場合は、[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) の[ドライバーやアプリケーションを再インストールします]オプションを使用して各アプリケーションまたはドライバーを再インストールします。
 - ▲ タスクバーの検索ボックスで、「recovery」または「リカバリ」と入力し、[HP Recovery Manager]または[リカバリ マネージャー]→[ドライバーやアプリケーションを再インストールします]の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

- Windows パーティションを工場出荷時のコンテンツに復元したい場合は、HP 復元用パーティション（一部の製品のみ）の[システムの復元]オプションを選択するか、または[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを使用できます。詳しくは、[27 ページの\[HP Recovery Manager\]（HP リカバリ マネージャー）を使用した復元](#)を参照してください。まだリカバリ メディアを作成していない場合は、[25 ページの\[HP Recovery\]（HP リカバリ）メディアの作成（一部のモデルのみ）](#)を参照してください。
 - 一部のモデルでは、ワークステーションの工場出荷時のパーティションおよびコンテンツを復元したい場合や、ハードディスク ドライブを交換した場合に、[HP Recovery]メディアの[ファクトリ リセット]オプションを使用できます。詳しくは、[27 ページの\[HP Recovery Manager\]（HP リカバリ マネージャー）を使用した復元](#)を参照してください。
 - 一部のモデルでは、復元用パーティションを削除してハードディスク ドライブの空き領域を増やせるように、[HP Recovery Manager]に[復元用パーティションの削除]オプションが用意されています。
- 詳しくは、[29 ページの HP 復元用パーティションの削除（一部のモデルのみ）](#)を参照してください。

[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用した復元

[HP Recovery Manager]ソフトウェアでは、作成するか、または HP から入手した[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを使用するか、HP 復元用パーティション（一部のモデルのみ）を使用することによって、ワークステーションを元の工場出荷時の状態に復元できます。まだリカバリ メディアを作成していない場合は、[25 ページの\[HP Recovery\]（HP リカバリ）メディアの作成（一部のモデルのみ）](#)を参照してください。

開始する前に確認しておくべきこと

- [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）では、出荷時にインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このワークステーションに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードするかまたは製造元から提供されたメディアから再インストールする必要があります。
-
-  **重要：** [HP Recovery Manager]を使用した復元は、ワークステーションの問題を修正するための最後の手段として試みてください。
-
- ワークステーションのハードディスク ドライブに障害が発生した場合は、[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを使用する必要があります。まだリカバリ メディアを作成していない場合は、[25 ページの\[HP Recovery\]（HP リカバリ）メディアの作成（一部のモデルのみ）](#)を参照してください。
 - [ファクトリ リセット]オプション（一部のモデルのみ）を使用するには、[HP Recovery]メディアを使用する必要があります。まだリカバリ メディアを作成していない場合は、[25 ページの\[HP Recovery\]（HP リカバリ）メディアの作成（一部のモデルのみ）](#)を参照してください。
 - お使いのワークステーションで[HP Recovery]メディアの作成が許可されていない場合や、[HP Recovery]メディアが動作しない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせのうえ、お使いのシステムのリカバリ メディアを入手できます。日本のサポート窓口については、日本向けの日本語モデル製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています。また、HP の Web サイトから HP のサポート窓口を検索することもできます。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/support/> を参照してください。日本以外の国や地域については、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

 **重要** : [HP Recovery Manager]では、ユーザーが作成したデータなどのバックアップ機能は提供されません。復元を開始する前に、保持する個人データをバックアップしてください。

[HP Recovery]メディアを使用して、以下の復元オプションのどちらかを選択できます。

 **注記** : 復元プロセスを開始すると、お使いのワークステーションで使用可能なオプションのみが表示されます。

- システムの復元 : 初期状態のオペレーティングシステムを再インストールし、工場出荷時にインストールされていたプログラムの設定を再構築します。
- ファクトリリセット : ハードディスクドライブの全情報を消去してパーティションを再作成し、ワークステーションを工場出荷時の状態に復元します。その後、工場出荷時にインストールされていたオペレーティングシステムおよびソフトウェアを再インストールします。

HP 復元用パーティション（一部のモデルのみ）を使用すると、[システムの復元]のみを実行できます。

HP 復元用パーティションの使用（一部のモデルのみ）

HP 復元用パーティションを使用すると、リカバリ ディスクまたはリカバリ USB フラッシュ ドライブなしでシステム リカバリを実行できます。このような復元は、ハードディスク ドライブがまだ動作している場合にのみ使用できます。

HP 復元用パーティションから[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を起動するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで、「recovery」または「リカバリ」と入力し、**[Recovery Manager]**（リカバリ マネージャー）→**[HP 回復環境]**の順に選択します。

または

ワークステーションの電源を入れるか再起動してすぐに **F11** キーを押すか、または電源ボタンを押すときに **F11** キーを押したままにします。

2. オプション メニューから**[トラブルシューティング]**を選択します。
3. **[Recovery Manager]**（リカバリ マネージャー）→**[System Recovery]**（システム リカバリ）の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを使用した復元

[HP Recovery]メディアを使用して、元のシステムを復元できます。この方法は、システムに HP 復元用パーティションが存在しない場合やハードディスク ドライブが適切に動作していない場合に使用できます。

1. 可能な場合は、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. [HP Recovery]USB フラッシュ ドライブを挿入し、ワークステーションを再起動します。

 **注記** : [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）でワークステーションが自動的に再起動しない場合は、ワークステーションのブート順序を変更します。[29 ページのワークステーションのブート順序の変更](#)を参照してください。

3. 画面の説明に沿って操作します。

ワークステーションのブート順序の変更

お使いのワークステーションが[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) で再起動しない場合は、ワークステーションのブート順序を変更できます。これは、ワークステーションが起動情報を検索するときに参照する BIOS にあり、デバイスの順番が一覧になっています。オプティカルドライブまたは USB フラッシュドライブの選択を変更できます。

ブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

1. [HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを挿入します。
2. BIOS にアクセスします。

ワークステーションを再起動し、すばやく **F9** キーを押して、ブートオプションを表示します。

3. 起動したいオプティカルドライブまたは USB フラッシュドライブを選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。

HP 復元用パーティションの削除 (一部のモデルのみ)

[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) ソフトウェアを使用すると、HP 復元用パーティションを削除して、ハードディスクドライブの空き領域を増やせます。

 **重要 :** HP 復元用パーティションを削除すると、システム リカバリを実行したり、HP 復元用パーティションから[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを作成したりすることはできません。このため、復元用パーティションを削除する前に、[HP Recovery]メディアを作成します。[25 ページの\[HP Recovery\] \(HP リカバリ\) メディアの作成 \(一部のモデルのみ\)](#) を参照してください。

 **注記 :** [復元用パーティションの削除]オプションは、この機能をサポートするモデルでのみ使用できます。

HP 復元用パーティションを削除するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで、「recovery」または「リカバリ」と入力し、[HP Recovery Manager]を選択します。
2. [復元用パーティションの削除]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

5 Windows 7 のセットアップ、バックアップ、復元、およびリカバリ

この章では、以下のトピックで Windows 7 オペレーティングシステムのセットアップおよび更新について説明します。

- [Windows 7 オペレーティングシステムのセットアップ](#)
- [Windows 7 のバックアップ、復元、およびリカバリ](#)

⚠ 注意：オペレーティングシステムのインストールが正常に完了するまでは、HP ワークステーションに別売のハードウェアや他社製のデバイスを追加しないでください。途中でハードウェアを追加すると、エラーが発生して、オペレーティングシステムが正しくインストールされない可能性があります。

📖 注記：オペレーティングシステムをセットアップしたら、最新の BIOS、ドライバー、およびソフトウェアの更新がワークステーションにインストールされていることを確認してください。
[39 ページの「ワークステーションの更新」](#)を参照してください。

Windows 7 オペレーティングシステムのセットアップ

⚠ 注意：インストールが開始されたら、プロセスが完了するまでワークステーションの電源を切らないでください。インストール中にワークステーションの電源をオフにすると、ソフトウェアのインストールや動作に悪影響が及ぶ可能性があります。

インストールおよび構成について詳しくは、<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows7/help/> を参照してください。詳しい情報は、オペレーティングシステムのインストール後、Windows 7 のオンラインヘルプで表示できます。

デバイスドライバーのインストールまたはアップグレード

ハードウェアデバイスを取り付ける前に、適切なデバイスドライバーをインストールする必要があります。各デバイスに付属しているインストール手順の説明に沿って操作してください。最適な状態で機能を利用するには、お使いのオペレーティングシステムに最新の更新プログラム、パッチ、およびサービスパックが適用されている必要があります。HP が認定したドライバーについては、<http://www.hp.com/jp/> を参照してください。ドライバーおよびソフトウェア更新プログラム情報について詳しくは、[39 ページの「ワークステーションの更新」](#)を参照してください。

ファイルおよび設定の転送

Windows オペレーティングシステムのデータ移行ツールを使用して、選択したファイルおよびデータを Windows ベースのワークステーションから別のワークステーションに転送できます。

これらのツールについて詳しくは、<http://www.microsoft.com/> を参照してください。

Windows 7 のバックアップ、復元、およびリカバリ

お使いのワークステーションには、HP が提供しているツールおよび Windows に付属のツールが含まれています。これらを使用すると障害の発生に備えて情報を保護したり、障害が発生した場合に保護しておいた情報を取り出したりできます。さらに、簡単な手順でお使いのワークステーションを正常な状態に復元したり、工場出荷時の状態に復元したりできます。

ここでは、以下のプロセスについて説明します。

- バックアップの作成
- システムの復元およびリカバリ

リカバリ メディアを作成するには、高品質で空の USB フラッシュドライブ、または DVD 書き込み機能に対応した外付けオプティカルドライブが必要です。オプティカルドライブを使用する場合は、高品質で空の DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、または DVD+R DL ディスクのみを使用する必要があります。CD ±RW、DVD±RW、2 層記録 DVD±RW、または BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどの書き換え可能なディスクは使用しないでください。これらのディスクは、[HP Recovery Manager]ソフトウェアに対応していません。互換性のある外付けオプティカルドライブが必要な場合は、HP から購入できます。

 **注記：** 提供されている Windows の[バックアップと復元]ツールについて詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。[ヘルプとサポート]にアクセスするには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

システム障害後のリカバリでは、直近のバックアップの時点に戻ります。

1. ワークステーションを正常にセットアップしたら、Windows ツールを使用してリカバリ メディアを作成します。Windows 7 で、[スタート]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[バックアップと復元]→[システム イメージの作成]の順に選択します。
2. ハードウェアおよびソフトウェア プログラムを追加するときは、システムの復元ポイントを作成します。システムの復元ポイントは、Windows の[システムの復元]機能によって保存された特定の時点でのハードディスク ドライブの内容のスナップショットです。システムの復元ポイントには、レジストリ設定など Windows が使用する情報が含まれます。Windows は、Windows の更新時および他のシステムのメンテナンス作業時（ソフトウェアの更新、セキュリティ スキャン、システム診断など）に自動的にシステムの復元ポイントを作成します。システムの復元ポイントは、いつでも手動で作成できます。システムの復元ポイントの作成手順について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。[ヘルプとサポート]にアクセスするには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。
3. 写真、動画、音楽、およびその他の個人用ファイルを追加したら、個人情報のバックアップを作成します。ファイルをハードディスク ドライブから誤って削除してしまってもごみ箱からも復元できない場合や、ファイルが壊れてしまった場合はバックアップしたファイルを復元できます。システム障害時には、バックアップファイルを使用してワークステーションの内容を復元できません。 [32 ページの情報のバックアップ](#)を参照してください。

 **注記：** システムが不安定になった場合に備えて、リカバリ手順を印刷し、後で使用するために保存しておくことをおすすめします。

情報のバックアップ

 **注記** : Windows にはユーザー アカウント制御が装備されており、ワークステーションのセキュリティを向上させています。特定のタスクの実行時に、ユーザー アカウント制御の許可またはパスワードを求めるメッセージが表示されることがあります。その場合、タスクを実行するには、適切なオプションを選択します。ユーザー アカウント制御について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

ソフトウェアの初期セットアップが完了したら、すぐに初期バックアップを作成することをおすすめします。バックアップを常に最新にしておくために、新しいソフトウェアやデータ ファイルを追加したときなど、定期的な頻度で継続してシステムをバックアップするようにしてください。初期バックアップおよび定期的なバックアップにより、障害が発生した場合に、データおよび設定を復元できます。

 **注記** : バックアップおよび復元オプションの手順については、[ヘルプとサポート]で関連するトピックを検索して参照してください。[ヘルプとサポート]にアクセスするには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

USB フラッシュドライブ、ネットワークドライブ、別売の外付けハードディスクドライブ、またはディスクに情報をバックアップできます。

バックアップをするときは以下の点を参考にしてください。

- ドキュメントライブラリに個人用のファイルを保存し、定期的にバックアップします。
- 関連ディレクトリに保存されているテンプレートをバックアップします。
- 設定のスクリーンショットを取ることによって、ウィンドウ、ツールバー、またはメニューバーに表示されるカスタマイズされた設定を保存します。設定をリセットする必要がある場合、スクリーンショットは時間を節約できます。
- USB フラッシュドライブまたはディスクにバックアップするときは、取り出した後に各フラッシュドライブまたはディスクに番号を割り振ります。

Windows の[バックアップと復元]を使用してバックアップを作成するには、以下の操作を行います。

 **注記** : バックアップ プロセスは、ファイルのサイズやワークステーションの速度に応じて、1 時間以上かかる場合があります。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元]の順に選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップのセットアップを行います。

システムの復元

ワークステーションにインストールしたソフトウェアが原因と思われる問題が発生した場合は、[システムの復元]を使用してワークステーションを以前の復元ポイントに戻します。復元ポイントは手動で設定することもできます。

 **注記** : [System Recovery] (システム リカバリ) 機能を使用する前に、必ずこの[システムの復元]の手順を実行してください。

[システムの復元]を起動するには、以下の操作を行います。

1. 開かれているすべてのプログラムを閉じます。
2. [スタート]→[コンピューター]→[プロパティ]の順に選択します。
3. [システムの保護]→[システムの復元]→[次へ]の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。

[System Recovery] (システム リカバリ)

 **注意** : この手順はすべてのユーザー情報を削除します。情報の損失を防ぐため、システムのリカバリ後に復元できるように、すべてのユーザー情報をバックアップするようにしてください。

[System Recovery] プログラムを使用する前に、必ず[システムの復元]の手順を実行してください。
[32 ページのシステムの復元](#)を参照してください。

[System Recovery]を実行すると、ハードディスクドライブが完全に消去および再フォーマットされるため、作成したすべてのデータファイルが削除されます。その後、オペレーティングシステム、プログラム、およびドライバが再インストールされます。ただし、工場出荷時にインストールされていなかったソフトウェアは、別途再インストールする必要があります。これには、ワークステーションのオプション製品ボックスに付属のメディアに収録されているソフトウェア、およびインストールしたすべてのソフトウェアが含まれます。

リカバリ メディア セットは、製品購入後 90 日以内に限り、HP のサポート窓口から無償で入手できます。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> または日本向け製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』を参照して、購入後の問い合わせ窓口にご連絡ください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。なお、リカバリ メディア セットのお届けまでに 1 か月程度お時間をいただく場合がありますことをご了承ください。

 **注記** : Microsoft オペレーティングシステムが搭載されていないシステムでは、一部の機能を使用できない場合があります。

[System Recovery]を実行するには、以下の方法のどちらかを選択する必要があります。

- リカバリ イメージを使用する : ハードディスクドライブに保存されているリカバリ イメージから[System Recovery]を実行します。リカバリ イメージは、工場出荷時のソフトウェアのコピーが含まれたファイルです。リカバリ イメージから[System Recovery]を実行する方法については、[33 ページの復元用パーティション イメージからの\[System Recovery\]の実行](#)を参照してください。
- リカバリ メディアを使用する : 別途購入したリカバリ メディアから[System Recovery]を実行します。

復元用パーティション イメージからの[System Recovery]の実行

 **注意** : [System Recovery]を実行すると、作成したデータおよびインストールしたプログラムがすべて削除されます。

HP 製品にプリインストールされている Windows システムでは、復元用パーティションが作成されています。この復元用パーティションを使用して、工場出荷時のオペレーティングシステムを復元できます。

1. ワークステーションの電源を切ります。必要であれば、ワークステーションの電源が切れるまで電源ボタンを押したままにします。
2. モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器 (USB 接続機器、プリンターなど) を、ワークステーションからすべて取り外します。
3. 電源ボタンを押し、ワークステーションの電源を入れます。
4. HP ロゴ画面が表示されたらすぐに、**[ファイルを読み込んでいます...]**というメッセージが表示されるまでキーボードの **F11** キーを繰り返し押します。

5. [HP Recovery Manager]画面で、画面に表示される指示に従います。
6. Windows が読み込まれたら、いったんワークステーションの電源を切り、すべての周辺機器を再接続した後に、ワークステーションの電源を入れなおします。

[HP Recovery]で作成したオペレーティングシステム メディアの使用

 **注意：** Windows 7 オペレーティングシステムの USB フラッシュドライブを使用すると、ハードディスクドライブの内容が完全に消去され、ハードディスクドライブが再フォーマットされます。ワークステーション上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。再フォーマットが完了すると、オペレーティングシステムおよび元のドライバーが復元されます。システムに付属のソフトウェアは、<http://www.hp.com/jp/> からダウンロードできます。

Windows 7 オペレーティングシステムおよびドライバーの USB フラッシュドライブを購入した場合は、このセクションの手順に従ってください。

Windows 7 オペレーティングシステムおよびドライバーの USB フラッシュドライブの購入については、HP の Web サイトを参照してください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/cgi-bin/hpsupport/index.pl> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、<http://www8.hp.com/us/en/contact-hp/ww-contact-us.html>（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。HP のサポート窓口に連絡して復元用 USB フラッシュドライブを購入することも可能です。

Windows 7 オペレーティングシステムおよびドライバーの USB フラッシュドライブを使用して復元を開始するには、以下の操作を行います。

 **注記：** リカバリには数分かかる場合があります。

1. すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. ワークステーションを再起動した後、Windows 7 オペレーティングシステムおよびドライバーの USB フラッシュドライブを USB ポートに挿入します。

 **注記：** ワークステーションが USB フラッシュドライブから起動しない場合は、いったん終了し、ワークステーションの電源を入れなおしたらすぐに、**Esc** キーを押してスタートアップメニューを表示します。矢印キーでブートメニューを選択して **Enter** キーを押します。矢印キーで USB フラッシュドライブの場所を選択し、そのデバイスから起動します。UEFI ブートソースから USB フラッシュドライブを起動すると、GPT ブートパーティションが表示されます。レガシーブートソースから起動すると、MBR ブートパーティションが表示されます。

3. 指示が表示されたら、任意のキーボードキーを押します。
4. 画面の説明に沿って操作します。

 **注記：** オペレーティングシステムのインストールが完了すると、ドライバーをロードできるようになります。

5. ハードウェア有効化ドライバーをインストールします。使用可能なすべてのドライバーをインストールすることをおすすめします。
6. ワークステーションに付属のアプリケーションは、<http://www.hp.com/jp/> からダウンロードできます。

6 Linux のセットアップ

HP では、HP ワークステーションのユーザー向けに、以下のようなさまざまな Linux ソリューションを提供しています。

- HP は、HP ワークステーションで Red Hat® Enterprise Linux (RHEL) を認証およびサポートしています。
- HP は、HP ワークステーションで SUSE® Linux Enterprise Desktop (SLED) を認証およびサポートしています。
- HP は、一部の HP ワークステーションで Canonical Ubuntu を認証およびサポートしています。
- HP Z シリーズワークステーションで 64 ビット SLED 11 をサポートしています。
- HP Z シリーズワークステーションで Ubuntu をサポートしています。

この章では、以下のトピックで Linux オペレーティングシステムのセットアップおよび復元方法について説明します。

- [Linux 対応システム](#)
- [HP Linux ドライバー ディスク](#)
- [Red Hat Enterprise Linux \(RHEL\) のセットアップ](#)
- [SUSE Linux Enterprise Desktop \(SLED\) のセットアップ](#)
- [Ubuntu のセットアップ](#)
- [HP が提供するグラフィックスドライバー](#)

⚠ 注意：オペレーティングシステムのインストールが正常に完了するまでは、ワークステーションにオプションのハードウェアや他社製のデバイスを追加しないでください。途中でハードウェアを追加すると、エラーが発生して、オペレーティングシステムが正しくインストールされない可能性があります。

📖 注記：オペレーティングシステムをセットアップしたら、最新の BIOS、ドライバー、およびソフトウェアの更新がインストールされていることを確認してください。[39 ページの「ワークステーションの更新」](#)を参照してください。

📖 注記：リカバリ メディアを作成するには、高品質で空の USB フラッシュドライブ、または DVD 書き込み機能に対応した外付けオプティカルドライブが必要です。オプティカルドライブを使用する場合は、高品質で空の DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、または DVD+R DL ディスクのみを使用する必要があります。CD±RW、DVD±RW、2 層記録 DVD±RW、または BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどの書き換え可能なディスクは使用しないでください。これらのディスクは、[HP Recovery Manager]ソフトウェアに対応していません。互換性のある外付けオプティカルドライブが必要な場合は、HP から購入できます。

Linux 対応システム

Linux 対応オプションでは、(FreeDOS など) 最小限の機能を持つ OS がシステムにプリロードされます。このオプションは、購入したシステムにお客様が OS をインストールする場合のためのものです。このオプションには、どのオペレーティングシステムのライセンスも含まれません。

Linux 対応オプションには Linux オペレーティング システムは含まれていないため、ユーザーが入手する必要があります。商用 Linux ディストリビューションを Red Hat または SUSE などのベンダーから購入できます。他にも無料で使用できるさまざまな Linux ディストリビューションがあります (Ubuntu など)。サポートされている構成およびオペレーティング システムを確認するには、http://www.hp.com/support/linux_hardware_matrix/ (英語ドキュメント) を参照してください。

HP Linux ドライバー ディスク

HP ワークステーションで一部の Linux OS を適切に使用および動作させるためのドライバーの ISO イメージを、HP の Web サイトから入手できる場合があります。これらのイメージには、RHEL、SLED、Ubuntu、またはその他の OS 内にあるドライバーを更新するためのテスト済みドライバーが含まれています。各イメージは特定の Linux OS リリースに固有のもので、

これらのイメージは、以下の操作を行ってダウンロードすることもできます。

1. http://www.hp.com/support/workstation_swdrivers/ (英語サイト) にアクセスします。
2. お使いのワークステーションのモデルを選択します。
3. 目的のオペレーティング システムを選択します。
4. 適切なパッケージ (通常は最新のバージョン) の **[Obtain software]** (ソフトウェアを入手) リンクを選択します。
5. **[I Agree]** (同意します) をクリックし、使用許諾契約書に同意します。
6. ソフトウェアの ISO イメージをダウンロードし、書き込み機能に対応した外付けオプティカルドライブを使って高品質で空の DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、または DVD+R DL ディスクに保存します。CD±RW、DVD±RW、2 層記録 DVD±RW、または BD-RE (再書き込みが可能なブルーレイ) ディスクなどの書き換え可能なディスクは使用しないでください。これらのディスクは、[HP Recovery Manager] ソフトウェアに対応していません。互換性のある外付けオプティカルドライブが必要な場合は、HP から購入できます。

このディスクが「HP ドライバー ディスク」です。

Red Hat Enterprise Linux (RHEL) のセットアップ

HP Z シリーズワークステーションは、そのハードウェア技術に対応した RHEL リリースで認証およびサポートされています。

- 特定のプラットフォームでの RHEL のサポートについて詳しくは、http://www.hp.com/support/linux_hardware_matrix/ の『Linux Hardware Matrix for HP Workstations』(HP ワークステーション用 Linux ハードウェア対応表) を参照してください。
- HP ワークステーションでの Red Hat の認証について詳しくは、<https://hardware.redhat.com/> (英語サイト) を参照してください。

HP ドライバー ディスク

通常、Red Hat Linux の最新バージョンでは、少しの修正を含むドライバー更新プログラムを適用するだけで HP ワークステーションをサポートできます。ほとんどの場合、これらのリリースは HP の Web サイトから入手できる適切なドライバーの USB フラッシュドライブまたはオプティカルディスクでサポートされます。このドライブまたはディスクは、Red Hat Linux の標準インストール後にユーティリティとして使用できます。詳しくは、[36 ページの HP Linux ドライバー ディスク](#) を参照してください。

Red Hat Linux の標準インストールを完了し、システムを再起動すると、Red Hat のファーストブートユーティリティが実行されます。さまざまな設定（セキュリティレベル、日付と時刻、「root」パスワード、ユーザーアカウントなど）を指定した後は、このユーティリティを使用して追加の USB フラッシュドライブまたはオプティカルディスクをロードできます。

ドライバーメディアは、この段階で使用します。HP によって追加されたコンテンツはすべて、このメディアの/HP ディレクトリにあります。このメディアを使用して、独自のイメージを作成したり、HP のコンテンツを参照したりできます。

メディアのコンテンツに関する README ファイルの最新の説明については、メディアの/HP ディレクトリを確認してください。

HP Red Hat Linux ドライバー メディアを使用したインストール

1. サポートされているリリース用の適切な HP ドライバー メディアがない場合は作成します ([36 ページの HP Linux ドライバー ディスク](#)を参照してください)。
2. Red Hat Linux ボックスセットに付属のメディアを使用してオペレーティングシステムをインストールします。
3. インストールしているオペレーティングシステム (OS) バージョン用の Red Hat ドライバーの USB フラッシュドライブまたはオプティカルディスクがある場合は、最初のインストールスプラッシュ画面が表示されたときに「linux dd」と入力し、[Enter]キーを押します。
4. ドライバー ディスクがあるかどうかを確認するメッセージが表示された場合は、[Yes] (はい) を選択します。Red Hat ドライバー ディスクをドライブに挿入し、適切なドライブを選択して (「drive:hd[abcd]」と入力)、通常のインストールを続行します。
5. オペレーティングシステムのインストールが正常に完了したら、ワークステーションを再起動します。
 - RHEL 6 または RHEL 7 の場合：HP ドライバーの USB フラッシュディスクを挿入します。ドライバーのインストールソフトウェアが自動的に起動します。画面の説明に沿って操作し、コンテンツをインストールします。

SUSE Linux Enterprise Desktop (SLED) のセットアップ

HP では、一部のワークステーションで 64 ビット SLED をサポートしています。

HP ワークステーションでは、さまざまなバージョンの SLED が SUSE によって認証およびサポートされています。詳しくは、SUSE の認証報告検索ページ、<https://www.suse.com/yessearch/Search.jsp> (英語サイト) を参照してください。

HP ドライバー ディスクを使用したSLED のインストール

1. HP ドライバー ディスクがワークステーションに付属していない場合は、ディスクを作成します ([36 ページの HP Linux ドライバー ディスク](#)を参照してください)。
2. SUSE ボックスセットに付属のディスクを使用してオペレーティングシステムをインストールします。
3. オペレーティングシステムのインストールが正常に完了したら、ワークステーションを再起動します。
4. HP ドライバー ディスクを挿入します。ドライバー インストールソフトウェアが自動的に起動します。画面の説明に沿って操作し、コンテンツをインストールします。

Ubuntu のセットアップ

HP では、HP Z シリーズワークステーションで 64 ビット Ubuntu 14.04 LTS を、他のワークステーションで 64 ビット Ubuntu 14.04 をサポートしています。

HP ワークステーションでは、さまざまなバージョンの Ubuntu が Canonical によって認証およびサポートされています。詳しくは、<http://www.ubuntu.com/certification/desktop/>（英語サイト）で Ubuntu Desktop 認証済みハードウェア検索ページにアクセスし、お使いのワークステーション製品を検索してください。

HP ドライバー ディスクの使用

Ubuntu では、ソフトウェアパッケージの更新を入手するために登録を行う必要はありません。更新は、OS に内蔵されている各種ツールを使用して Web 上のさまざまな「リポジトリ」から入手できます。必要になるものはインターネット接続およびプロキシのみです。

HP が提供する Ubuntu 用の Linux ドライバー ディスクは、インストール中に依存関係を満たすために同じメカニズムを使用します。そのため、同じようにインターネット アクセスが必要になるだけでなく、現在のユーザー セッションを管理者権限に昇格させる機能が必要になります。

場合によっては、HP が提供するテスト済みのグラフィックスドライバーが、このドライバー ディスクによって提供される唯一の「ペイロード」になることもあります。

1. ユーザーのインストール用メディアからオペレーティングシステムをインストールします。
Ubuntu は <http://www.ubuntu.com/>（英語サイト）から無料で入手できます。
2. ワークステーションを再起動します。
3. HP ドライバー ディスクを挿入します。ドライバー インストールソフトウェアが自動的に起動します。
4. 管理者パスワードを求められた場合は、フィールドにパスワードを入力します。
5. 画面の説明に沿って操作し、お使いのハードウェア構成に適切なドライバーをインストールします。

HP が提供するグラフィックスドライバー

ほとんどの HP ワークステーションは、HP によって詳細に検証されたグラフィックスカードが付属した状態で購入できます。サポートされているカードの一覧については、http://www.hp.com/support/linux_hardware_matrix/ の『Linux Hardware Matrix for HP Workstations』（HP ワークステーション用 Linux ハードウェア対応表）を参照してください。

 **注記:** すべてのグラフィックスカードをすべてのワークステーションで利用できるわけではありません。通常、低電力のワークステーションでは、電力消費量の大きいカードの使用が制限されています。

HP およびグラフィックスベンダーによってサポートされている他社製の独自のグラフィックスドライバーは、Z シリーズワークステーションの SLED 11 および Ubuntu プリロードに収録されているほか、<http://www.hp.com/go/workstationsupport/> から入手できます。

これらの独自のドライバーはオープンソースではないため、RHEL、SLED、または Ubuntu の各ディストリビューションに標準で搭載されているドライバーではありません。HP のサポート Web サイトで提供されているドライバーより新しいリビジョンのドライバーは、ベンダーによって直接サポートされます。

7 ワークステーションの更新

- [初回ブート後のワークステーションの更新](#)
- [BIOS の更新](#)
- [デバイスドライバーのアップグレード](#)

HP では、ワークステーション全体の操作性を向上させるため、継続的な取り組みを行っています。お使いのワークステーションが最新の機能を利用できるように、最新の BIOS、ドライバー、[Software Update]（ソフトウェア更新プログラム）などを定期的にインストールすることをおすすめします。

初回ブート後のワークステーションの更新

ワークステーションの最初の起動が正常に行われたら、以下のガイドラインに沿って、ワークステーションが最新のものであることを確認してください。

- 最新のシステム BIOS バージョンがロードされていることを確認します。[39 ページの BIOS の更新](#)を参照してください。
- システムに最新のドライバーがインストールされていることを確認します。[40 ページのデバイスドライバーのアップグレード](#)を参照してください。
- 入手可能な HP リソースを確認してください。
- <http://www.hp.com/go/subscriberschoice/>（英語サイト）からの、ドライバーに関する重要な情報（Driver Alerts）を定期購読することを検討してください。

BIOS の更新

最適な状態で機能を利用するには、ワークステーションの BIOS のバージョンを確認し、必要に応じてアップグレードを行います。

現在の BIOS バージョンの確認

現在の BIOS バージョンを確認するには、以下の操作を行います。

1. 起動（ブート）時に **Esc** キーを押します。
2. **F10** キーを押して[コンピューター セットアップ (F10) ユーティリティ]を起動します。
3. **[Main]**（メイン）→**[System Information]**（システム情報）の順に選択します。ワークステーションのシステム BIOS バージョンを書き留めます。

 **注記：** BIOS および[コンピューター セットアップ (F10)]（BIOS メニュー）のアップグレード手順について詳しくは、http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html からお使いのワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』を参照してください。

BIOS のアップグレード

最新の拡張機能を含む、入手可能な最新の BIOS バージョンを検索してダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. <http://www.hp.com/go/workstationsupport/> にアクセスします。
2. [ダウンロードオプション]タブで、[ドライバー、ソフトウェア、およびファームウェア]を選択します。
3. 説明に沿って操作し、ワークステーションの最新の BIOS バージョンを確認します。
4. お使いのワークステーションの BIOS バージョンと Web サイトの BIOS バージョンを比較します ([39 ページの現在の BIOS バージョンの確認](#)を参照してください)。Web サイトの BIOS バージョンがシステムのバージョンと同じであれば、これ以上の操作は不要です。
5. Web サイトの BIOS バージョンの方がシステム上の BIOS よりも新しいバージョンであれば、ワークステーションに適切なバージョンをダウンロードします。リリースノートの説明に沿って操作し、インストールを完了します。

デバイスドライバーのアップグレード

周辺機器（プリンター、ディスプレイ アダプター、またはネットワーク アダプターなど）を取り付ける場合は、最新のデバイスドライバーがロードされていることを確認します。デバイスを HP から購入した場合は、HP の Web サイトにアクセスしてお使いのデバイスの最新のドライバーをダウンロードします。これらのドライバーは、お使いのデバイスと HP ワークステーションの間で最適な互換性を確保するようにテストされています。

デバイスを HP から購入していない場合は、最初に、お使いのデバイスおよびそのドライバーが HP ワークステーションとの互換性についてテストされているかどうかを HP の Web サイトで確認することをおすすめします。利用できるドライバーがない場合は、デバイスの製造元の Web サイトにアクセスして最新のドライバーをダウンロードします。

デバイスドライバーをアップグレードするには、以下の操作を行います。

1. <http://www.hp.com/go/workstationsupport/> にアクセスし、お使いの製品を指定します。
2. 説明に沿って操作し、ワークステーションの最新のドライバーを確認します。

必要なドライバーが見つからない場合は、周辺機器の製造元の Web サイトにアクセスしてください。

8 診断および簡単なトラブルシューティング

- [サポートへのお問い合わせ](#)
- [ID ラベルの貼付位置](#)
- [保証に関する情報](#)
- [HP トラブルシューティングのリソースとツール](#)

サポートへのお問い合わせ

サポートが必要となる問題が発生することがあります。サポートにお問い合わせになる前に、次の準備をしてください。

- ワークステーションがすぐに確認できる場所から問い合わせます。
- ワークステーションのシリアル番号、製品番号、モデル名、およびモデル番号を書き留めておきます。
- 該当するエラー メッセージをメモします。
- アドオン オプションをメモします。
- オペレーティングシステムをメモします。
- 他社製のハードウェアやソフトウェアをメモします。
- ワークステーションの前面（縦置きおよび横置きモデル）または側面（オールインワン モデル）にあるランプの点滅の仕方を詳しく書き留めておきます。
- 問題が発生したときに使用していたアプリケーションをメモします。

 **注記：** サービスまたはサポートに電話をかけると、ワークステーションの製品番号（例：PS988AV）を尋ねられる場合があります。ワークステーションに製品番号が付いている場合、通常は、10 桁または 12 桁のシリアル番号の隣に記載されています。

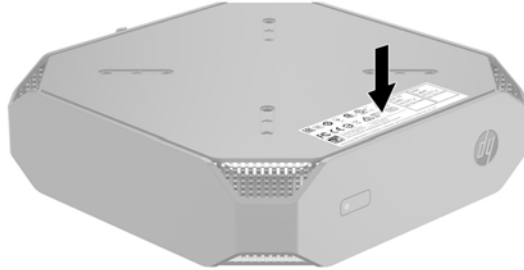
 **注記：** シリアル番号ラベルおよび製品ラベルは、ワークステーションのリア パネルに貼付されています。

日本での製品サポートについては、日本向け製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』または HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）で該当する国や地域を選択して、**[HP Customer Support]**（HP カスタマー サポート）の下の**[Contact Support]**（HP へのお問い合わせ）を選択してください。

ID ラベルの貼付位置

各ワークステーションには、認定/認証ラベル、オペレーティング システム ラベル、およびシリアル番号ラベルが貼付されています。

1. 認定/認証ラベルおよびオペレーティング システム (OS) ラベル
2. シリアル番号 (ワークステーションごとに固有) この番号は、HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに必要です。



保証に関する情報

基本的な保証に関する情報を確認するには、日本向け製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』または HP の Web サイト、<http://www.hp.com/support/warranty-lookuptool/> を参照してください。

既存の HP Care Pack を確認するには、<http://www.hp.com/go/lookuptool/> を参照してください。

標準の製品保証を延長するには、<http://h20565.www2.hp.com/hpsc/wc/public/home/> を参照してください。HP Care Pack サービスは、標準の製品保証を延長および拡張する、アップグレードされたサービスレベルを提供します。

HP トラブルシューティングのリソースとツール

このセクションでは、システムのトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

オンライン サポート

オンライン サポート リソースには、Web ベースのトラブルシューティング ツール、技術情報データベース、ドライバーおよびパッチのダウンロード、オンライン コミュニティ、製品変更通知サービスなどがあります。

以下の Web サイトも使用できます。

- <http://www.hp.com/jp/> : 役立つ製品情報
- http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html : 最新のオンライン マニュアル
- <http://www.hp.com/go/workstationsupport/> : ワークステーションの技術サポート情報
- <http://www8.hp.com/us/en/contact-hp/phone-assist.html> : 世界各地のテクニカル サポートの電話番号を掲載しています。地域を選択します。
- http://www.hp.com/support/workstation_swdrivers/ (英語サイト) : ワークステーションのソフトウェアおよびドライバー

HP サポート センター

HP では、自分で問題のトラブルシューティングを行うときに役立つ HP サポート センターを提供しています。HP サポート センターは充実したオンライン ツールへのポータルです。HP サポート センターにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/workstationsupport/> にアクセスします。
2. お使いの製品を検索します。
3. **[重要な問題およびソリューション]**タブの**[Other solution options]**（その他のソリューション オプション）で、**[Troubleshoot a problem]**（問題のトラブルシュート）を選択します。
4. トラブルシューティングを行う問題を選択します。

HP チャット サポート

HP チャット サポートはコンピューターやワークステーション、テープ ストレージ、印刷などに関する問題をすばやく自動的に解決するための Web ベースのサポート ツールのセットです。

HP チャット サポートを使用すると、Web を介して HP にサポート チケットを電子的に送信できます。サポート チケットを送信すると、そのワークステーションに関する情報が収集されてオンライン サポート 担当者に転送されます。情報の収集には、お使いのワークステーションの構成にもよりますが、約 30 秒ほどかかります。サポート チケットを送信すると、ケース ID、ユーザーの国/地域におけるサポート時間、対応にかかる推定時間が記載された確認メッセージが返送されます。

HP チャット サポートについて詳しくは、<http://h20565.www2.hp.com/portal/site/hpsc/> を参照してください。

 **注記：** Linux では、この機能は使用できません。

技術情報、セキュリティ関連情報、および顧客通知

技術情報、セキュリティ関連情報、および通知を検索するには、以下の操作を行います

1. HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/workstationsupport/> にアクセスします。
2. お使いの製品を検索します。
3. **[重要な問題およびソリューション]**タブの**[Other solution options]**（その他のソリューション オプション）で、**[サポート技術情報（アドバイザリー）]**を選択します。
4. 表示する項目を選択します。

製品変更通知

製品変更通知（PCN）は、製品に対して変更が加えられる場合に、製造プロセスでその変更が有効になる日の 30～60 日前にあらかじめ通知を行うプログラムです。PCN は、BIOS バージョンの更新など、変更の適用前にダウンロードの判断が必要となる可能性のある製品変更について、お客様に事前に通知します。PCN の一覧の表示については、お使いの製品の**[サポート技術情報（アドバイザリー）]** ページを参照してください。

役に立つヒント

ワークステーション本体、モニター、またはソフトウェアに問題が発生した場合は、以下のことを確認して問題を特定および調査してから、作業を実行してください。

起動時

- ワークステーションの電源プラグが、正常に機能している電源コンセントに接続されていることを確認します。
- すべてのオプティカルディスクおよびUSBフラッシュドライブを取り外し、ワークステーションを起動します。
- ワークステーション本体の電源が入っていて、電源ランプが点灯していることを確認します。
- 出荷時とは異なるオペレーティングシステムをインストールしている場合は、そのオペレーティングシステムがお使いのシステムでサポートされていることを <http://www.hp.com/go/quickspecs/> (英語サイト) で確認してください。
- ディスプレイパネルが点灯していることを確認します。
- 別売の外付けモニターを使用している場合は、以下の操作を行います。
 - モニターの電源プラグが、正常に機能している電源コンセントに接続されていることを確認します。
 - モニター本体の電源が入っていて、電源ランプが緑色に点灯していることを確認します。
 - モニター画面の表示がぼやけている場合は、輝度とコントラストを調整します。

操作中

- ワークステーションのビープ音および点滅の仕方によって、問題を特定できる場合があります。ビープ音および点滅の解釈について詳しくは、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』の「診断LEDとビープ音の意味」を参照してください。
- キーボードの任意のキーを押し続けます。ビープ音が鳴れば、キーボードは正しく機能しています。
- 接続が緩んでいたり、間違っていて接続していないか、すべてのケーブルを確認します。
- 電源ボタンまたはキーボードの任意のキーを押して、ワークステーションを復帰させます。システムがサスペンドモードから復帰しない場合は、電源ボタンを4秒以上押し続けてシステムの電源を切ります。次に、もう一度電源ボタンを押して電源を入れなおします。

システムがシャットダウンしない場合は、電源コードを抜いて数秒待ち、コードを接続しなおします。システムが再起動しない場合は、電源ボタンを押す必要があります。
- 必要なデバイスドライバーがすべてインストールされていることを確認します。たとえば、プリンターを接続した場合は、プリンタードライバーをインストールする必要があります。
- ネットワーク上で作業している場合は、他のケーブルを使用してワークステーションをネットワークに接続してみて、まだ接続できない場合は、ネットワークプラグに問題がある可能性があります。
- 新しいハードウェアを取り付けてから問題が発生した場合は、そのハードウェアを取り外して、ワークステーションが正しく機能するかを確認します。
- 新しいソフトウェアをインストールしてから問題が発生した場合は、そのソフトウェアをアンインストールして、ワークステーションが正しく機能するかを確認します。

- オールインワン タイプのワークステーションのディスプレイ パネルに何も表示されない場合は、ワークステーションのカバーを開き、システム ボードとディスプレイ パネルの間のケーブルの両端が接続されていることを確認します。グラフィックスカードを使用している場合は、そのカードが正しく取り付けられていることを確認します。
- BIOS をアップグレードします。新しい機能のサポートや問題の修正プログラムが含まれた BIOS の新しいリリースが発表されている可能性があります。
- 詳しくは、http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html の『メンテナンスおよびサービスガイド』を参照してください。

カスタマー セルフ リペア プログラム

カスタマー セルフ リペア プログラムでは、交換用部品を購入し、HP のサポート担当者と呼ばずに部品を取り付けることができます。一部のコンポーネントでは、カスタマー セルフ リペアが必要になる場合があります。詳しくは、<http://www.hp.com/go/selfrepair/> にアクセスしてお使いの製品を選択してください。

 **注記：**一部のコンポーネントは、カスタマー セルフ リペアに適していないため、HP に返却して修理する必要があります。詳しくは、これらのコンポーネントの取り外しまたは修理を行う前に HP のサポート窓口にお問い合わせください。

その他のトラブルシューティング オプション

その他のトラブルシューティング方法およびツールについて詳しくは、HP の Web サイト、http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html の『メンテナンスおよびサービスガイド』を参照してください。

- POST 時のエラー コード
- ランプおよびビープ音の診断
- トラブルシューティングの状況および方法
- HP PC Hardware Diagnostics (UEFI) : ハードウェアが正しく作動しているかどうか判別するときに役立つ一連の診断テスト

9 [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用

[HP PC Hardware Diagnostics] (HP PC ハードウェア診断) は UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) であり、診断テストを実行して、コンピューターのハードウェアが正常に動作しているかどうかを確認できます。このツールはオペレーティングシステムの外で実行されるため、オペレーティングシステムまたはその他のソフトウェアコンポーネントが原因で発生する可能性のある問題からハードウェア障害を分離できます。

ハードウェアの交換が必要な障害が[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) で検出された場合、24 桁の障害 ID コードが生成されます。この ID コードは HP のサポートでの問題の解決に役立てることができません。

 **注記：** モードの変更が可能なコンピューターで診断を開始するには、お使いのコンピューターをノートブックモードにして、コンピューターに取り付けられているキーボードを使用する必要があります。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) を起動するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるかコンピューターを再起動してすぐに **Esc** キーを押します。
2. **F2** キーを押します。

BIOS は、以下の順序で 3 か所から診断ツールを検索します。

- a. 接続されている USB ドライブ

 **注記：** [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) ツールを USB ドライブにダウンロードするには、[47 ページの\[HP PC Hardware Diagnostics\] \(UEFI\) の USB デバイスへのダウンロード](#)を参照してください。

- b. ハードディスク ドライブ
- c. BIOS

3. 診断ツールが開いたら、実行する診断テストの種類を選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

 **注記：** 診断テストを停止する必要がある場合は、**Esc** キーを押します。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の USB デバイスへのダウンロード

 **注記** : [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) のダウンロードの説明は、英語でのみ提供されています。また、.exe ファイルのみが提供されているため、Windows コンピューターを使用して、[HP UEFI Support Environment] (HP UEFI サポート環境) をダウンロードおよび構築する必要があります。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) を USB デバイスにダウンロードするには、以下の 2 つの方法があります。

UEFI の最新バージョンをダウンロードする

1. HP の Web サイト、<http://www8.hp.com/jp/ja/campaigns/hpsupportassistant/pc-diags.html> にアクセスします。[HP PC Hardware Diagnostics]のホーム ページが表示されます。
2. [HP PC Hardware Diagnostics 3-in-1 USB メモリ]セクションの**[ダウンロード (3-in-1 USB メモリ v.x.x.x)]** (「x.x.x」はバージョン番号) リンクを選択し、**[保存]**を選択して USB デバイスに保存します。

特定の製品向けの任意のバージョンの UEFI をダウンロードする

1. HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
2. [ソフトウェアとドライバー]または[ソフトウェア/ドライバー]を選択します。
3. 製品の名前または番号を入力します。
または
[検出を開始]を選択して、お使いの製品が自動検出されるようにします。
4. お使いのコンピューターを選択し、オペレーティングシステムを選択します。
5. **[診断]**セクションで、画面の説明に沿って必要な UEFI バージョンを選択してダウンロードします。

10 日常的なお手入れ

一般的な清掃に関する安全上の注意事項

- ワークステーションは、溶剤や可燃性の溶液で拭かないでください。
- 部品を水やクリーニング溶液に浸さないでください。清潔な布に液体をしみ込ませて、部品を拭いてください。
- 必ずワークステーションの電源プラグを抜いてから、キーボード、マウス、または通気孔を清掃してください。
- キーボードを清掃する場合には、必ずケーブルを外してください。
- キーボードを清掃する場合には、側面に覆いのある安全眼鏡を着用してください。

シャーシの清掃

- ワークステーションを清掃するには、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』に記載されている安全に関する注意事項に従ってください。
- 少しの染みや汚れは、汚れない柔らかい布または綿棒を水で湿らせて取り除いてください。
- 強い汚れには、水で薄めた低刺激の食器用洗剤を使用します。きれいな水で湿らせた布または綿棒で拭いて、洗剤をしっかりと拭き取ります。
- しつこい汚れには、イソプロピル（消毒用）アルコールを使用します。アルコールはすぐに揮発し跡が残らないため、拭き取りは不要です。
- 清掃が終了したら、汚れない柔らかい布で必ずワークステーションを拭いてください。
- ワークステーションの通気孔を時々清掃してください。糸くずや異物によって通気孔がふさがれて、通気が妨げられていることがあります。

キーボードの清掃

⚠ 注意：キーの下のごみを清掃する場合は、側面に覆いのある安全眼鏡を着用してください。

- キーボードにオン/オフ スイッチがある場合は、オフにします。
- ワークステーションを清掃するには、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』に記載されている安全に関する注意事項に従ってください。
- キーの下や間にある目に見えるごみは、掃除機を使うか振り落として除去します。
- キーの下のごみは、エアークリーナーを使って取り除きます。空気圧が強過ぎると、長いキーの潤滑油が吹き飛ばされることがあるので、注意が必要です。
- キーを取り外す場合は、キーを破損しないように専用のキー リムーバーを使用してください。この工具は、一般的な電気部品販売店で購入できます。

⚠ 注意：横長のキー（スペースバーなど）は、キーボードから取り外さないでください。これらのキーを取り外したり取り付けたりすると、キーボードが正しく動作しなくなることがあります。

- イソプロピルアルコールで湿らせて余分なアルコールを絞り出した綿棒で、キーの下を清掃します。適切なキー動作に必要な潤滑油を拭き取らないよう注意してください。部品は、取り付けなおす前に空気乾燥させます。
- 狭い場所にある繊維やごみはピンセットで取り除いてください。

モニターの清掃

- ワークステーションを清掃するには、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』に記載されている安全に関する注意事項に従ってください。
- モニターを清掃するには、モニター清掃用のウェットティッシュまたは水で湿らせた清潔な布でモニターの画面を拭きます。

⚠ 注意: 画面に直接スプレーやエアゾールを吹きかけないでください。液体が筐体の隙間から内部にしみ込んで、コンポーネントが損傷することがあります。

ディスプレイまたは筐体が破損するおそれがあるので、溶剤や可燃性の液体は絶対に使用しないでください。

マウスの清掃

1. ワークステーションを清掃するには、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービスガイド』に記載されている安全に関する注意事項に従ってください。
2. マウスにオン/オフ スイッチがある場合は、オフにします。
3. 湿らせた布でマウスの本体を拭きます。
4. マウスの各部品は、以下のように清掃します。
 - レーザーまたはランプ: 洗浄液で湿らせた綿棒を使用して、レーザーまたはランプの周囲にあるほこりを丁寧に取り除いてから、乾いた綿棒でもう一度拭きます。綿棒で直接レーザーおよびランプを拭かないでください。
 - スクロール ホイール: 圧縮空気缶を使用して、スクロール ホイールとクリック ボタンの隙間に空気を吹き付けます。同じ場所に長時間空気を直接吹き付けしないでください。結露が発生することがあります。
 - ローラー ボール: ローラー ボールを取り外して清掃し、ボールソケットからほこりを取り除き、乾いた布でソケットを拭き取ってから、マウスを組み立てなおします。

11 ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティングシステム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記：** 特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

索引

B

BIOS

- アップグレード 40
- 更新 39
- バージョンの確認 39

Bluetooth デバイス

- 接続 13
- 無効化 13

Bluetooth デバイスの無効化 13

H

HP PC Hardware Diagnostics (UEFI)

- 使用 46

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI)、ダウンロード 22

HP ドライバー ディスク

- RHEL のセットアップ 36
- SLED のセットアップ 37
- Ubuntu セットアップ 38

HP リソース 1

I

ID ラベル 42

L

Linux

- HP Linux ドライバー ディスク 36
 - HP が提供するグラフィックスドライバー 38
 - RHEL 36
 - セットアップ 35
 - ソリューション 35
- ### Linux 対応システム
- Linux のバージョン 35
 - ディスクの作成 35

R

Red Hat Linux ドライバー メディア、RHEL のセットアップ 37

RHEL

- HP ドライバー ディスク 36
- Linux 36

- Red Hat Linux ドライバー メディア 37
- セットアップ 36

S

SLED

- HP ドライバー ディスク 37
- セットアップ 37

U

Ubuntu

- HP ドライバー ディスク 38
- セットアップ 38

URL

- HP.com 17
- HP チャット サポート 43
- HP のお問い合わせ先 42
- HP のカスタマー セルフ リペア プログラム 45
- Linux Hardware Matrix for HP Workstations 36
- Red Hat の認証 36
- SUSE の認証報告検索ページ 37
- Ubuntu 38
- ワークステーションのソフトウェアおよびドライバーのダウンロード 36

W

Windows 10

- HP PC Hardware Diagnostics (HP PC ハードウェア診断) 21
- [HP PC Hardware Diagnostics]の実行 22
- [HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード 22
- [HP PC Hardware Diagnostics]へのアクセス 22
- HP Recovery Manager (HP リカバリ マネージャー) 27
- [HP Recovery]メディア 25

[HP Recovery]メディアの使用 28

HP 復元用パーティション 28

HP 復元用パーティションの削除 29

Windows ツール 26

初期セットアップ 19

その他の情報の参照先 20

ディスプレイのカスタマイズ 20

テクニカル サポート 23

トラブルシューティング 21

トラブルシューティング、基本的 21

バックアップおよび復元 24

復元およびリカバリ 26

ライセンス認証およびカスタマイズ 19

ランプの点滅やビープ音 21

リカバリ メディアの作成、バックアップ 24

ワークステーションの電源切断 20

ワークステーションのブート順序 29

Windows 7

[HP Recovery]で作成したディスク 34

[System Recovery](システム リカバリ) 33

システムの復元 32

情報のバックアップ 32

セットアップ 30

バックアップ 31

ファイルの転送、設定 30

復元 31

復元用パーティション イメージ 33

リカバリ 31

か

カスタマー セルフ リペア プログラム 45

- く
 - グラフィックスカード
 - モニター コネクタへの適合 17
- さ
 - サポート 1, 2, 41
 - HP サポート センター 43
 - HP チャット サポート 43
 - オンライン 42
 - 技術情報 43
 - 顧客通知 43
 - 情報 43
 - セキュリティ関連情報 43
 - ユーザー サポート 50
- し
 - 仕様
 - 環境 9
 - 製品 9
- せ
 - 製品
 - 更新プログラム 4
 - 情報 1
 - 診断 3
 - ドキュメント 3
 - 製品変更通知 43
 - セキュリティ 18
 - 接続
 - Bluetooth デバイス 13
 - 電源 12
 - 接続要件、モニター 17
 - セットアップ 19, 30
 - Linux 35
 - RHEL 36
 - SLED 37
 - Ubuntu 38
 - 通気 10
 - モニター 15
 - セットアップ手順 11
- つ
 - 通気 10
- て
 - 手入れ、日常 48
 - 電源、接続 12
- と
 - ドライバー
 - インストール 30
 - 更新 30, 40
 - トラブルシューティング
 - カスタマー セルフ リペア プログラム 45
 - その他のオプション 45
 - トラブルシューティングの方法 44
 - トラブルシューティングの方法、起動時 44
 - トラブルシューティングの方法、操作中 44
 - リソースおよびツール 42
- に
 - 日常的なお手入れ 48
 - キーボードの清掃 48
 - シャーシの清掃 48
 - 清掃の安全 48
 - マウスの清掃 49
 - モニターの清掃 49
- ふ
 - 物理特性 9
- へ
 - 別売のコンポーネント 18
- ほ
 - 保証に関する情報 42
- む
 - 無線 LAN、無効化 14
- も
 - モニター
 - エントリ モデルのための準備 15
 - コネクタへのグラフィックスカードの適合 17
 - 準備手順 16
 - 接続 17
 - 接続要件の確認 17
 - 設定 17
 - セットアップ 15
 - 追加 15
 - 追加するための準備 15
- ディスプレイ設定 18
- ディスプレイのカスタマイズ 18
- パフォーマンス モデルのための準備 15
- モニターの接続 17
- モニターの設定 17
- ゆ
 - ユーザー サポート 50
 - HP のサポート窓口へのお問い合わせ 50
 - 支援技術 50
- り
 - リサイクル 18
 - リンク
 - HP.com 17
 - HP チャット サポート 43
 - HP のお問い合わせ先 42
 - HP のカスタマー セルフ リペア プログラム 45
 - Linux Hardware Matrix for HP Workstations 36
 - Red Hat の認証 36
 - SUSE の認証報告検索ページ 37
 - Ubuntu 38
 - ワークステーションのソフトウェアおよびドライバーのダウンロード 36
- ろ
 - ロック ケーブル 18
- わ
 - ワークステーションの各部 5
 - 前面 5
 - 背面 7
 - 背面、エントリ 8
 - 背面、パフォーマンス 7
 - 左側面 6
 - ワークステーションの機能 5
 - ワークステーションの更新 39
 - BIOS のアップグレード 40
 - BIOS の更新 39
 - BIOS バージョンの確認 39

初回ブートの更新	39
デバイスドライバの更新	
40	
ワークステーションのセットアップ	10
セキュリティ	18
ワークステーションのマウント	
11	